ふじさわ LIFE FEST

THE JAPAN NATIONAL LIFESAVING CHAMPIONSHIPS 50th Anniversary

スポーツ振興基金助成事業
独立行政法人日本スポーツ振興センター

JLA

第５０回
全日本ライフセービング選手権大会

実施報告書

公益財団法人
日本ライフセービング協会

ゴールの先に、救う生命がある

大会概要

■タイトル　第50回全日本ライフセービング選手権大会 本選会

■主催　公益財団法人日本ライフセービング協会

■日時/会場　2024年10月12日（土）-14日（月祝）　片瀬西浜海岸（神奈川県藤沢市）

■後援　国土交通省、スポーツ庁、消防庁、海上保安庁、神奈川県、藤沢市、日本赤十字社、
公益社団法人日本水難救済会、公益社団法人藤沢市観光協会、公益財団法人日本水泳連盟

※順不同

■協賛　株式会社SUBARU
株式会社BS日本（BS日テレ）
株式会社ポピンズ
株式会社櫻井興業
株式会社クレーマージャパン

■協力　江の島海水浴場協同組合、江の島片瀬漁業協同組合、株式会社オフサイド
公益財団法人かながわ海岸美化財団、一般社団法人神奈川県ライフセービング協会
鵠沼サーフショップ組合、鵠沼ビーチクリーンクラブ、株式会社湘南なぎさパーク、株式会社殿網、
特定非営利活動法人西浜サーフライフセービングクラブ、日本サーフィン連盟 湘南藤沢支部
藤沢市漁業協同組合、公益財団法人藤沢市みらい創造財団、三菱地所株式会社 横浜支店

※順不同

■助成　独立行政法人日本スポーツ振興センター

■参加実績　選手663名 / スタッフ196名（審判含む） / 観覧者3000名（※3日間延べ）

■競技種目

【個人種目】

	ｻｰﾌﾚｰｽ	ﾋﾞｰﾁﾌﾗｯｸﾞｽﾌﾟﾘﾝﾄ	ﾋﾞｰﾁｽﾌﾟﾘﾝﾄ	ﾋﾞｰﾁﾗﾝ(2km)	ｻｰﾌｽｷｰﾚｰｽ	ﾎﾞｰﾄﾞﾚｰｽ	ｵｰｼｬﾝﾏﾝ/ｳｰﾏﾝ
男子	67	64	40	76	49	99	35
女子	64	63	43	67	34	64	33

【チーム種目】

	ﾚｽｷｭｰﾁｭｰﾌﾞﾚｽｷｭｰ	ﾋﾞｰﾁﾘﾚｰ	ﾎﾞｰﾄﾞﾚｽｷｭｰ	ｵｰｼｬﾝﾏﾝ/ｳｰﾏﾝﾘﾚｰ
男子	18	26	18	30
女子	17	26	18	23

会場

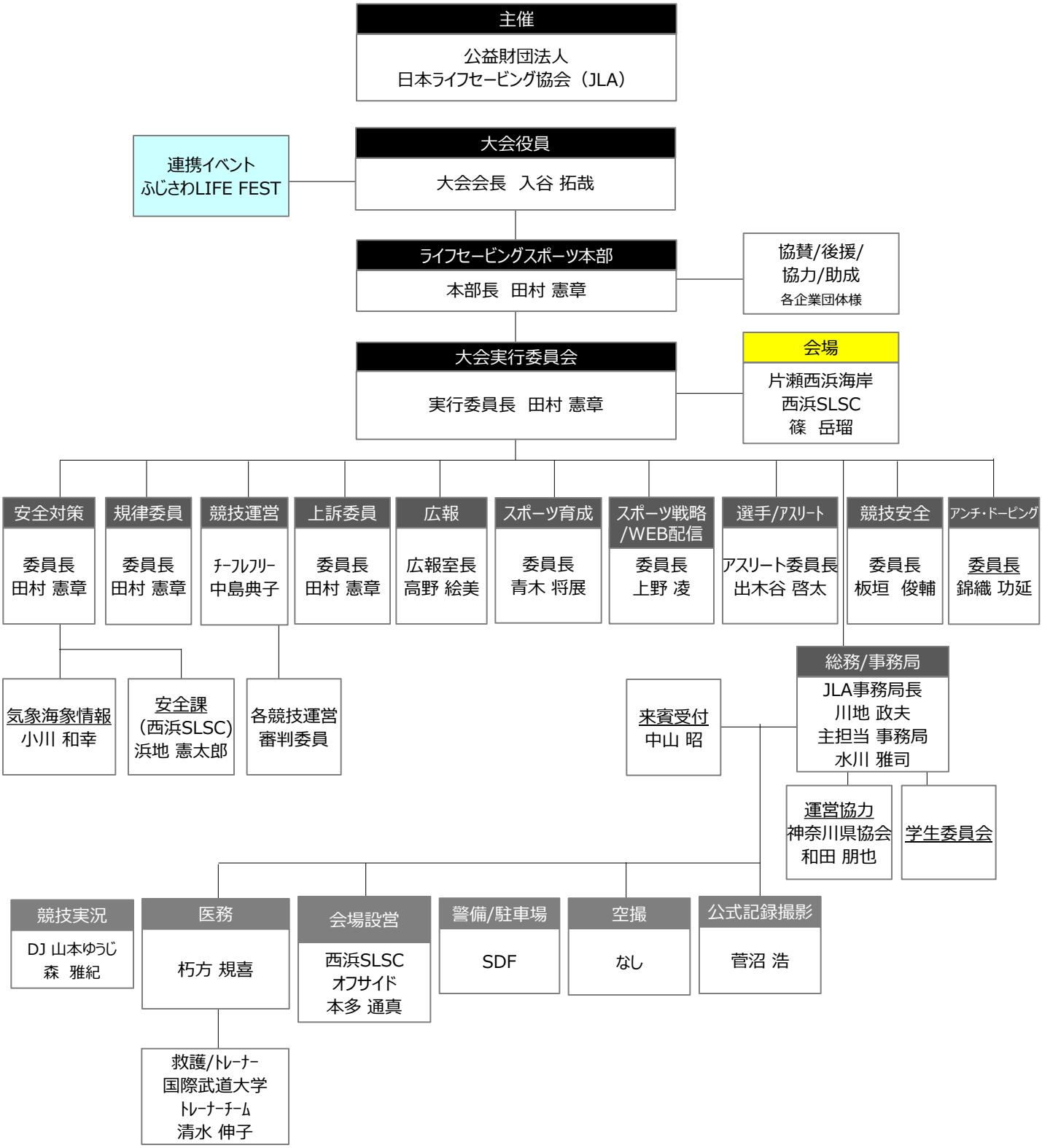
■名称　　片瀬西浜海岸 （神奈川県藤沢市片瀬海岸）
片瀬江ノ島駅から江の島に向かって右側。
伊豆半島まで遮るものが何もなく、とても広々した風景が広がる。駐車場も各所にあり多数の来場者に対応できる。

■所在地　　神奈川県藤沢市鵠沼海岸1丁目17−27

■アクセス　　■藤沢駅から大会会場まで車で約20分
■小田急線片瀬江ノ島駅又は鵠沼海岸駅から大会会場まで徒歩で　　約20分

■アクセス図

大会組織


主催
公益財団法人
日本ライフセービング協会（JLA）
連携イベント
ふじさわLIFE FEST
大会役員
大会会長　入谷 拓哉
ライフセービングスポーツ本部
本部長　田村 憲章
協賛/後援/
協力/助成
各企業団体様
大会実行委員会
実行委員長　田村 憲章
会場
片瀬西浜海岸
西浜SLSC
篠　岳瑠
安全対策
委員長
田村 憲章
規律委員
委員長
田村 憲章
競技運営
ﾁｰﾌﾚﾌﾘｰ
中島典子
上訴委員
委員長
田村 憲章
広報
広報室長
高野 絵美
スポーツ育成
委員長
青木 将展
スポーツ戦略
/WEB配信
委員長
上野 凌
選手/ｱｽﾘｰﾄ
ｱｽﾘｰﾄ委員長
出木谷 啓太
競技安全
委員長
板垣　俊輔
ｱﾝﾁ･ﾄﾞｰﾋﾟﾝｸﾞ
委員長
錦織 功延
気象海象情報
小川 和幸
安全課
（西浜SLSC）
浜地 憲太郎
各競技運営
審判委員
来賓受付
中山 昭
総務/事務局
JLA事務局長
川地 政夫
主担当 事務局
水川 雅司
運営協力
神奈川県協会
和田 朋也
学生委員会
競技実況
DJ 山本ゆうじ
森　雅紀
医務
朽方 規喜
会場設営
西浜SLSC
ｵﾌｻｲﾄﾞ
本多 通真
警備/駐車場
SDF
空撮
なし
公式記録撮影
菅沼 浩
救護/ﾄﾚｰﾅｰ
国際武道大学
ﾄﾚｰﾅｰﾁｰﾑ
清水 伸子

大会関係者

2024/10/9現在

●大会役員					
大会会長	入谷　拓哉	（日本ライフセービング協会　理事長）			
大会副会長　　※五十音順	高野　絵美	（日本ライフセービング協会　副理事長）			
	松本　貴行	（日本ライフセービング協会　副理事長）			
大会役員　　※五十音順	石川　仁憲	（日本ライフセービング協会　常務理事）			
	鎌田　綾子	（日本ライフセービング協会　理事）			
	白井　勇喜	（日本ライフセービング協会　理事）			
	田村　憲章	（日本ライフセービング協会　理事）			
	中川　容子	（日本ライフセービング協会　理事）			
	平野　玲奈	（日本ライフセービング協会　理事）			
	細田　直彦	（日本ライフセービング協会　理事）			
●実行委員会					
実行委員長／セーフティーオフィサー	田村　憲章	（ライフセービングスポーツ本部長）			
実行委員	青木　将展	（ライフセービングスポーツ副本部長／スポーツ育成委員長）			
	上野　凌	（ライフセービングスポーツ副本部長／スポーツ戦略委員長）			
	出木谷　啓太	（アスリート委員長）			
	板垣　俊輔	（競技安全委員長）			
	中島　典子	（競技審判委員長）			
	錦織　功延	（アンチ・ドーピング委員会）			
	篠　岳瑠	（西浜サーフライフセービングクラブ）			
	浜地　憲太郎	（西浜サーフライフセービングクラブ）			
	高野　絵美	（広報室長）			
	水川　雅司	（事務局職員／ライフセービングスポーツ副本部長）			
●規律委員会					
委員長	田村　憲章	（ライフセービングスポーツ本部長）			
委員	青木　将展	（ライフセービングスポーツ副本部長／スポーツ育成委員長）			
	川地　政夫	（事務局長）			
	水川　雅司	（事務局職員／ライフセービングスポーツ副本部長）			
●安全対策委員会					
委員長	田村　憲章	（ライフセービングスポーツ本部長）			
委員	中島　典子	（競技審判委員長）			
	浜地　憲太郎	（西浜サーフライフセービングクラブ）			
	川地　政夫	（事務局長）			
	水川　雅司	（事務局職員／ライフセービングスポーツ副本部長）			
●上訴委員会					
委員長	田村　憲章				
委員	青木　将展	水川　雅司			
●競技運営審判					
チーフレフリー	中島　典子				
コンペティション・リエゾンオフィサー	藤田　善照	吉田　健博			
コーススーパーバイザー	栗栖　清浩				
ヘッドスコアラー	日馬　孝昌	南部　孝二	朽方　杏香 12,13	平井　太佳子 12,13	大矢　幸恵 13,14
	谷本　栞乃 14	大熊　明日香 14			
ビデオ記録員	大熊　順一	柏木　滉大	池田　葵	沢島　広斗	磯辺　光太郎
	皆川　美優	若原　遼哉	渡邉　愉太	原　昂汰	
IRB審判員	上野　義洋	門間　智幸 12,13	天川　仁 13,14	伊藤　隆寛 14	
マーシャル補佐（決勝ラッシュペスト・GPSデバイス配布対応）	大岡　麻結 12	佐川　陽香 12,13	手塚　益弘 ス 13,14	鶴薗　理菜 14	
＜ビーチエリア＞					
セクショナルレフリー	泉田　昌美				
スターター	坂本　靖	奈良部　真弓	中村　勝 12,13	平藤　昌寛	
マーシャル	森田　桃子	高野　冴都	田之上　紗和子		
コースジャッジ	梅田　裕章	長谷川　康二	中尾　正	中根　大文	八百市　亮太
	榛澤　耀太	高井　翔太	石塚　康敬	一條　恵理子	佐藤　藍
	須浪　有咲	谷河　かのん	林　優真	上村　真哉	山本　悠平
	太田　勉　12,13	荒井　智弥 12,13	泉　沙智子 12,13	櫻井　清喬 12,13	齋藤　良太 13,14
	堀川　雅貴 13	原田　あい 14			
レコーダー	坂本　千佳子	川隅　しのぶ	平　志帆		
＜サーフエリア＞					
セクショナルレフリー	梶本　道彦				
スターター	五十嵐　章雄	青木　克浩			
マーシャル	柳下　萌奏	輪島　由佳	池谷　良子 12,13	阿藤　千咲 14	
コースジャッジ	斎藤　健一郎	山下　純平	高田　大輝	鈴木　崇大	高品　桃
	奈良　美穏	堀　英介	外山　涼乃	奈良　颯大	濵名　洸希
	小森　申大	山岡　杏未 12,13	増田　朋之 12,13	小谷　凜乃 12,13	橋野　美優 12,14
	小笠原　哲也 13,14	小平　柊介 13	宮川　太良 14	久保　裕貴 14	
レコーダー	大山　ルミ	篠原　直希 12,14	高巣　苺子 13		
●総務					
安全課	西浜サーフライフセービングクラブ				
	浜地　憲太郎	橋本　和樹	飯塚　剛志	溝上　晴斗	小澤　知史
	金川　もも	石井　誠	岩井　義幸	近藤　大輝	髙橋　颯
	牛澤　帆夏	山田　海斗	鈴木　雷矢	立石　隆真	三浦　すず
	石橋　知大	佐川　誠也	小林　巧	友部　真也	鶴園　広海
	森　陽菜子				
会場備品・設営	株式会社オフサイド				
司会実況	山本　ゆうじ	森　雅紀	上野　泰	鈴木　潤	和田　哲
医務	朽方　規喜				
救護・トレーナー	清水　伸子	国際武道大学トレーナーチーム			
気象海象情報	小川　和幸（WATER　KIDS　JAPAN）				
オフィシャルカメラ	菅沼　浩				
広報室	高野　絵美	山口　智史	菊地　太		
スポーツ育成委員会	青木　将展	荒井　宏和	小林　海	植木　将人（兼MC解説）	坂本　陸（兼MC解説）
スポーツ戦略委員会	上野　凌	小野　稜平	小森　健登	鈴木　耀太	中村　萌夏
	戸向　陽介	宮澤　あみ（撮影協力）			
アンチ・ドーピング委員会	錦織　功延	小西　由紀	島田　そら	古村　菜々海	藤沢市薬剤師会
学生委員会	福田　響	花澤　祐紀	髙橋　かのん	佃　遥介	徳嶺　仁美
	牛澤　帆夏	松本　勝己	世儀　十那実	服部　琉久	
運営協力	神奈川県	藤沢市	本多　通真（オフサイド）	株式会社オフサイド	神奈川県ライフセービング協会
事務局	川地　政夫	佐藤　洋二郎	中山　昭	川名　健太郎	水川　雅司

審判76名、スタッフ120名

大会参加チーム

	チーム正式名称	一般 男	一般 女	一般 計	高校生 男	高校生 女	高校生 計	中学生 男	中学生 女	中学生 計	合計
1	愛知ライフセービングクラブ	0	2	2	0	0	0	0	0	0	**2**
2	安芸ライフセービングクラブ	8	0	8	0	0	0	0	0	0	**8**
3	熱川ライフセービングクラブ	5	6	11	0	0	0	0	0	0	**11**
4	天橋立ライフセービングクラブ	4	2	6	1	0	1	0	0	0	**7**
5	淡路島ライフセービングクラブ	2	0	2	0	0	0	0	0	0	**2**
6	岩井ライフセービングクラブ	9	8	17	0	0	0	0	0	0	**17**
7	大洗サーフライフセービングクラブ	5	1	6	0	0	0	0	0	0	**6**
8	大磯ライフセービングクラブ	14	3	17	0	0	0	0	0	0	**17**
9	大分市ライフセービングクラブ	1	0	1	0	0	0	0	0	0	**1**
10	大阪ライフセービングクラブ	7	1	8	0	0	0	0	0	0	**8**
11	大竹サーフライフセービングクラブ	8	4	12	0	0	0	0	0	0	**12**
12	鬼崎サーフライフセービングクラブ	4	0	4	0	0	0	0	0	0	**4**
13	御宿ライフセービングクラブ	2	0	2	0	0	0	0	0	0	**2**
14	鹿嶋ライフガードチーム	10	8	18	0	0	0	0	0	0	**18**
15	柏崎ライフセービングクラブ	7	3	10	0	2	2	0	1	1	**13**
16	勝浦ライフセービングクラブ	8	0	8	1	2	3	0	2	2	**13**
17	鎌倉ライフガード	4	2	6	0	1	1	0	2	2	**9**
18	鴨川ライフセービングクラブ	7	7	14	0	0	0	0	0	0	**14**
19	KITAJIMAQUATICS	1	0	1	0	0	0	1	0	1	**2**
20	九十九里ライフセービングクラブ	26	10	36	0	0	0	0	0	0	**36**
21	気仙沼ライフガード	1	1	2	0	0	0	0	0	0	**2**
22	神津島ライフセービングクラブ	7	5	12	0	0	0	0	0	0	**12**
23	神戸ライフセービングクラブ	5	2	7	0	0	0	0	0	0	**7**
24	式根島ライフセービングクラブ	2	1	3	0	0	0	0	0	0	**3**
25	下田ライフセービングクラブ	18	21	39	1	1	2	0	0	0	**41**
26	十文字中学・高等学校ライフセービングクラブ	0	0	0	0	5	5	0	0	0	**5**
27	湘南ひらつかライフセービングクラブ	5	4	9	0	0	0	0	0	0	**9**
28	昭和第一学園高等学校ライフセービングクラブ	0	0	0	5	4	9	0	0	0	**9**
29	白浜ライフセービングクラブ	7	7	14	0	0	0	0	1	1	**15**
30	新宮ライフセービングクラブ	0	1	1	0	0	0	0	0	0	**1**
31	逗子サーフライフセービングクラブ	9	7	16	0	0	0	0	0	0	**16**
32	成城学園高等学校ライフセービングクラブ	0	0	0	7	3	10	0	0	0	**10**
33	館山サーフライフセービングクラブ	11	4	15	2	3	5	0	3	3	**23**
34	淡輪ライフセービングクラブ	8	3	11	0	0	0	0	0	0	**11**
35	茅ヶ崎サーフライフセービングクラブ	8	5	13	0	0	0	0	0	0	**13**
36	銚子ライフセービングクラブ	15	6	21	0	0	0	0	0	0	**21**
37	辻堂ライフセービングクラブ	7	0	7	0	0	0	0	0	0	**7**
38	土肥ライフセービングクラブ	9	4	13	0	0	0	0	0	0	**13**
39	東京消防庁ライフセービングクラブ	4	0	4	0	0	0	0	0	0	**4**
40	長崎県北ライフセービングクラブ	0	1	1	0	0	0	0	0	0	**1**
41	新島ライフセービングクラブ	5	1	6	0	0	0	0	0	0	**6**
42	西伊豆ライフセービングクラブ	9	14	23	0	0	0	0	0	0	**23**
43	西浜サーフライフセービングクラブ	17	10	27	7	3	10	2	4	6	**43**
44	日本体育大学荏原高等学校ライフセービングクラブ	0	0	0	8	8	16	0	0	0	**16**
45	博多サーフライフセービングクラブ	2	1	3	0	0	0	0	0	0	**3**
46	波崎サーフライフセービングクラブ	14	10	24	0	0	0	0	0	0	**24**
47	葉山ライフセービングクラブ	2	0	2	0	0	0	0	0	0	**2**
48	常陸サーフライフセービングクラブ	4	4	8	0	0	0	0	0	0	**8**
49	牧之原ライフセービングクラブ	5	5	10	0	0	0	0	0	0	**10**
50	松崎ライフセービングクラブ	1	4	5	0	0	0	0	0	0	**5**
51	南伊豆ライフセービングクラブ	10	11	21	0	0	0	0	0	0	**21**
52	御浜沼津ライフセービングクラブ連合	1	4	5	0	0	0	0	0	0	**5**
53	用宗ライフセービングクラブ	1	0	1	0	0	0	0	0	0	**1**
54	湯河原ライフセービングクラブ	16	16	32	0	0	0	0	0	0	**32**
55	横浜海の公園ライフセービングクラブ	8	4	12	0	0	0	0	0	0	**12**
56	若狭和田ライフセービングクラブ	5	3	8	0	0	0	0	0	0	**8**
57	和田浦ライフセービングクラブ	2	4	6	0	0	0	0	0	0	**6**
58	Biarritz Sauvetage Côtier (FRANCE)		1	1							**1**
59	BMD Northcliffe Surf Life Saving Club（Australia）		1	1							**1**
60	New Zealand Team	5	2	7							**7**
61	Christies Beach Surf Life Saving（Australia）	1		1							**1**
62	岡山ライフセービングクラブ	1	2	3							**3**
		357	226	**583**	32	32	**64**	3	13	**16**	**663**

※各予選会を勝ち抜いた 本選出場人数です

2024年	男子	女子	計	
一般	357	226	583	
高校生	32	32	64	
中学生	3	13	16	**663**

2023年	男子	女子	計	
一般	309	203	512	
高校生	43	30	73	
中学生	7	5	12	**597**

2022年	男子	女子	計	
一般	276	170	446	
高校生	28	40	68	
中学生	5	2	7	**521**

2021年	男子	女子	計	
一般	169	134	303	
高校生	19	29	48	
中学生	1	0	1	**352**

タイムテーブル

10月12日(土)

オーシャンエリア

開始
7:00 安全役員会議/実行委員会
7:30 オフィシャル会議

9:45 サーフレース（女子/準決勝）
サーフレース（男子/準決勝）
ボードレスキュー（女子/準決勝）
ボードレスキュー（男子/準決勝）

12:30 開会式
13:10 ★ニッパーボードレース（U12女子・男子）
14:20 サーフレース（女子/決勝）
14:35 サーフレース（男子/決勝）

15:10 ボードレスキュー（女子/決勝）
15:25 ボードレスキュー（男子/決勝）

16:20 表彰式①
16:50 1日目終了

ビーチエリア

開始

9:00 ビーチスプリント（女子/準々決勝）
ビーチスプリント（男子/準々決勝）
ビーチスプリント（女子/準決勝）
ビーチスプリント（男子/準決勝）

ビーチリレー（女子/準々決勝）
ビーチリレー（男子/準々決勝）
ビーチリレー（女子/準決勝）
ビーチリレー（男子/準決勝）

14:50 ビーチスプリント（女子/決勝）
15:00 ビーチスプリント（男子/決勝）

15:40 ビーチリレー（女子/決勝）
15:50 ビーチリレー（男子/決勝）

10月13日(日)

オーシャンエリア

開始
6:30 安全役員会議/実行委員会
7:00 オフィシャル会議
8:00 オーシャンウーマン（準決勝）
オーシャンマン（準決勝）
ボードレース（男子/予選）
ボードレース（女子/準々決勝）
ボードレース（男子/準々決勝）

ボードレース（女子/準決勝）
ボードレース（男子/準決勝）
12:05（昼休憩）

13:45 ボードレース（女子/決勝）
14:00 ボードレース（男子/決勝）

15:00 オーシャンウーマン（決勝）
15:20 オーシャンマン（決勝）

16:30 表彰式②
17:00 2日目終了

ビーチエリア

開始

8:00 ビーチラン(2km)（女子/準決勝）
ビーチラン(2km)（男子/準決勝）

ビーチフラッグス（男子/予選）

ビーチフラッグス（女子/予選）

ビーチクリーン
10:00-11:00
ふじさわLIFE FEST
正面ビーチ

11:50（昼休憩）

12:30 ★ビーチフラッグス（U12女子・男子）
13:25 ビーチフラッグス（女子/準決勝）

ビーチフラッグス（男子/準決勝）

15:50 ビーチラン(2km)（女子/決勝）
16:05 ビーチラン(2km)（男子/決勝）

10月14日(月)

サーフエリア

開始
7:00 安全役員会議/実行委員会
7:30 オフィシャル会議
8:30 サーフスキーレース（男子/準々決勝）
サーフスキーレース（女子/準決勝）
サーフスキーレース（男子/準決勝）
レスキューチューブレスキュー（女子/準決勝）
レスキューチューブレスキュー（男子/準決勝）
オーシャンウーマンリレー（準決勝）
オーシャンマンリレー（準決勝）
12:00（昼休憩）
13:00 サーフスキーレース（女子/決勝）
13:15 サーフスキーレース（男子/決勝）
13:45 レスキューチューブレスキュー（女子/決勝）
14:00 レスキューチューブレスキュー（男子/決勝）
14:30 オーシャンウーマンリレー（決勝）
14:50 オーシャンマンリレー（決勝）
15:30 表彰式③/閉会式
16:30 3日目終了

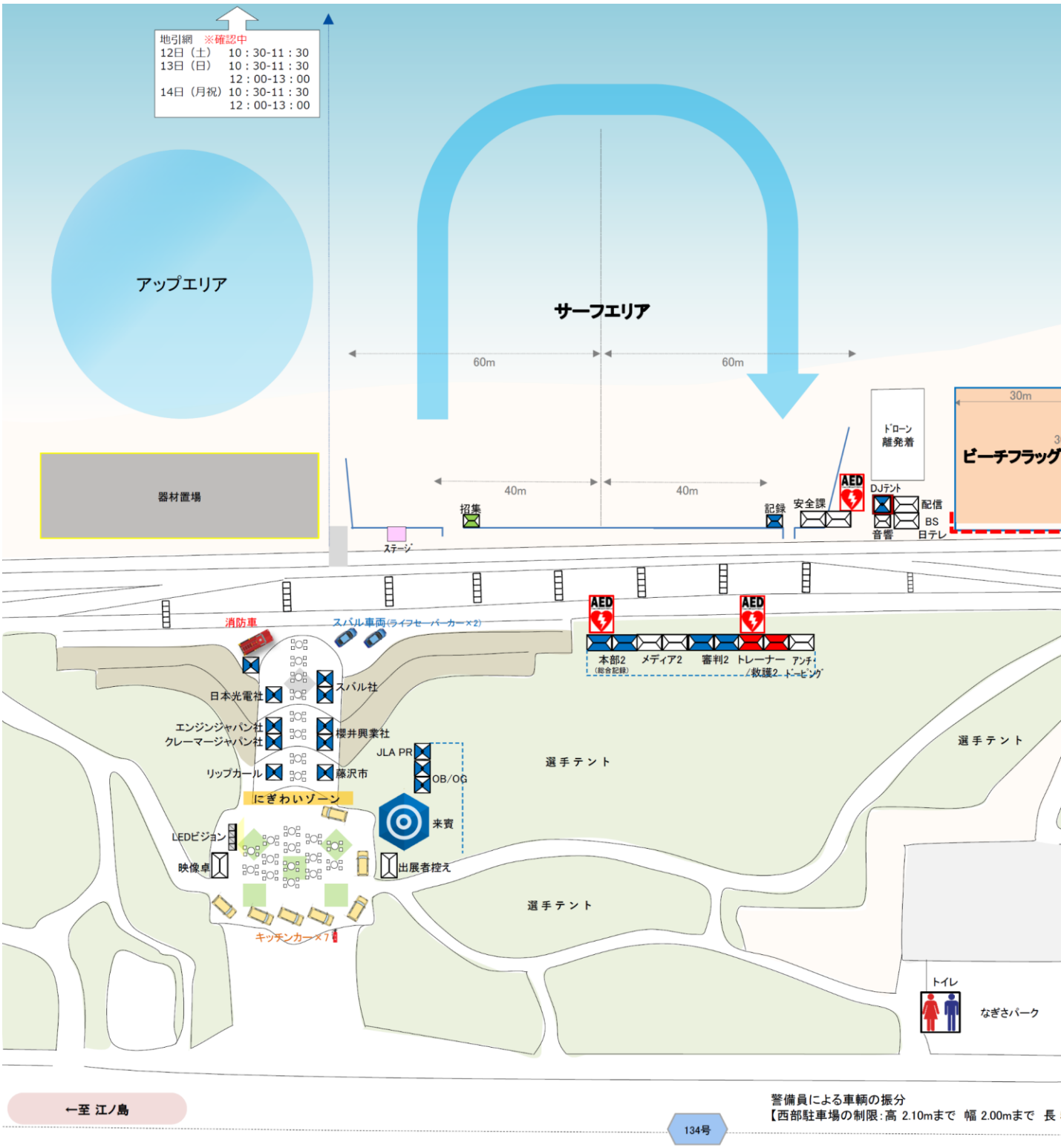
ビーチエリア

開始

ポピンズキッズビーチフラッグス
10:00-11:00

12:00 ビーチフラッグス（女子 男子/決勝）

会場図



Title/	第50回全日本ライフセービング選手権大会　本選会	Place/	片瀬西浜

会場図

海岸　(神奈川県藤沢市)	Date/　2024/10/12(土)-14(月祝)	公益財団法人 日本ライフセービング協会

第50回全日本ライフセービング選手権大会
行動制限・管理について①

- **2021年度～2022年度にかけて行ってきた、感染症対策ならびに行動制限等については、基本的に撤廃をいたします。**
  - **マスクの着用は個人の判断とする。ただし、着用する者・着用しない者、それぞれの判断を尊重し、互いに強要をしないこと。**
  - 混雑が予想される場面、例えば公共交通機関の電車内、チームテント内、更衣室、招集所、等においては、マスクの着用を推奨する。
  - 大会前14日間の体調チェック及びその記録を付けることは、推奨とする。
  - 大会前72時間以内のPCR等による検査の対応は、推奨とする。
  - 各チームの帯同人数の制限はしない。またチーム関係者や応援者、ならびに一般観客の入場を可能とする。
  - 会場入場時の検温チェックや、ウイルス検査結果の確認は行わない。

- 基本的な感染対策の継続をお願いいたします。
  - こまめな手洗い、手指消毒
  - 3密（密接・密集・密閉）の回避

- ただし、大会当日に体調が優れない場合は、大会会場への来場はお控えください！

第50回全日本ライフセービング選手権大会
行動制限・管理について①

- 令和５年５月８日以降、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが５類感染症に変更されました。

- ５類感染症に移行することから、**一般に保健所から新型コロナ患者の「濃厚接触者」として特定されることはありません。また、「濃厚接触者」として法律に基づく外出自粛は求められません。**外出を控えるかどうかは、季節性インフルエンザと同様に、個人の判断に委ねられることになります。

- このことから、JLAが主催する競技会においても、「濃厚接触者」の特定や、その者の外出自粛は求めないこととします。同様に、競技会終了後に参加者が新型コロナウイルスの陽性者が発生した場合の報告はしなくてよいものとします。

※参考
■厚生労働省のページより
新型コロナウイルス感染症の５類感染症移行後の対応について
https://www.mhlw.go.jp/stf/corona5rui.html

チーム関係者の皆様へ【撮影・応援について】

競技会中における撮影・応援は、次のルールを必ずお守りください！

①必ずチームユニフォームを着用してください！

②各チームのSNSに投稿をする場合、チーム外の人が写っている写真・動画のアップロードはお控えください（配慮をお願いします）。

③競技エリアの中には、絶対に立ち入らないでください！

④上記が守られていない場合は、大会実行委員会からお声がけすることがあります。

＊競技会を取材・撮影いただける方を限定しております。
＊取材撮影をご希望のマスコミ・メディアの方は、事前申請を行ってください。
＊媒体があるマスコミ・メディア以外の方は申請・撮影できません。
詳しくは　https://jla-lifesaving.or.jp/media/

水辺の事故ゼロをめざして
日本ライフセービング協会

一般観覧の皆様へ

この大会では、入場制限を設けておりません。ぜひとも選手の皆様の活躍を現地会場にてご観覧ください！
競技会中における撮影・応援は、次のルールを必ずお守りください！

①一般観覧の皆様における撮影は、ご遠慮いただいております！

②入場時の検温チェック等は行いません。また、会場内のマスク着用は個人の判断となります。ただし体調が優れない場合はご来場をお控えいただくようお願いいたします。

＊競技会を取材・撮影いただける方を限定しております。
＊取材撮影をご希望のマスコミ・メディアの方は、事前申請を行ってください。
＊媒体があるマスコミ・メディア以外の方は申請・撮影できません。
詳しくは　https://jla-lifesaving.or.jp/media/

水辺の事故ゼロをめざして
日本ライフセービング協会

■作成サイズ：A4 中綴じ24P
■使用用途　：WEBホームページへの掲載,大会関係者200部配付

裏表紙

TIMETABLE　タイムテーブル

OVERVIEW / OFFICIAL / WINNERS / COMPETITIONGUIDE / TEAM CAP / PLAYERS / TIMETABLE

10月12日(土)

オーシャンエリア	ビーチエリア
開始	開始
7:00 安全役員会議/実行委員会	
7:30 オフィシャル会議	
	9:00 ビーチスプリント（女子/準々決勝）
	ビーチスプリント（男子/準々決勝）
	ビーチスプリント（女子/準決勝）
	ビーチスプリント（男子/準決勝）
9:45 サーフレース（女子/準決勝）	
サーフレース（男子/準決勝）	
ボードレスキュー（女子/準決勝）	
ボードレスキュー（男子/準決勝）	
	ビーチリレー（女子/準々決勝）
	ビーチリレー（男子/準々決勝）
	ビーチリレー（女子/準決勝）
	ビーチリレー（男子/準決勝）
12:30 開会式	
13:10 ★ニッパーボードレース（U12女子・男子）	
14:20 サーフレース（女子/決勝）	
14:35 サーフレース（男子/決勝）	
	14:50 ビーチスプリント（女子/決勝）
	15:00 ビーチスプリント（男子/決勝）
15:10 ボードレスキュー（女子/決勝）	
15:25 ボードレスキュー（男子/決勝）	
	15:40 ビーチリレー（女子/決勝）
	15:50 ビーチリレー（男子/決勝）
16:20 表彰式①	
16:30 1日目終了	

10月13日(日)

オーシャンエリア	ビーチエリア
開始	開始
6:30 安全役員会議/実行委員会	
7:00 オフィシャル会議	
8:00 オーシャンウーマン（準決勝）	8:00 ビーチラン(2km)（男子/準決勝）
オーシャンマン（準決勝）	ビーチラン(2km)（女子/準決勝）
ボードレース（男子/予選）	
ボードレース（女子/準々決勝）	ビーチフラッグス（男子/予選）
ボードレース（男子/準々決勝）	
	ビーチフラッグス（女子/予選）
ボードレース（女子/準決勝）	11:50 （昼休憩）
ボードレース（男子/準決勝）	
12:05 （昼休憩）	12:30 ★ビーチフラッグス（U12女子・男子）
	13:25 ビーチフラッグス（女子/準決勝）
13:45 ボードレース（女子/決勝）	
14:00 ボードレース（男子/決勝）	
	ビーチフラッグス（男子/準決勝）
15:00 オーシャンウーマン（決勝）	
15:20 オーシャンマン（決勝）	
	15:50 ビーチラン(2km)（女子/決勝）
	16:05 ビーチラン(2km)（男子/決勝）
16:30 表彰式②	
17:00 2日目終了	

10月14日(月)

サーフエリア	ビーチエリア
開始	開始
7:00 安全役員会議/実行委員会	
7:30 オフィシャル会議	
8:30 サーフスキーレース（男子/準々決勝）	
サーフスキーレース（女子/準決勝）	
サーフスキーレース（男子/準決勝）	
レスキューチューブレスキュー（女子/準決勝）	ポピンズキッズビーチフラッグス 10:00-11:00
レスキューチューブレスキュー（男子/準決勝）	
オーシャンウーマンリレー（準決勝）	
オーシャンマンリレー（準決勝）	
12:00 （昼休憩）	12:00 ビーチフラッグス（女子/男子/決勝）
13:00 サーフスキーレース（女子/決勝）	
13:15 サーフスキーレース（男子/決勝）	
13:45 レスキューチューブレスキュー（女子/決勝）	
14:00 レスキューチューブレスキュー（男子/決勝）	
14:30 オーシャンウーマンリレー（決勝）	
14:50 オーシャンマンリレー（決勝）	
15:30 表彰式③/閉会式	
16:30 3日目終了	

表紙

GREETING

The 50th JAPAN NATIONAL LIFESAVING CHAMPIONSHIPS at KATASE NISHIHAMA BEACH, FUJISAWA CITY, 12th~14th OCT.2024

公益財団法人
日本ライフセービング協会
理事長
入谷 拓哉

第 50 回全日本ライフセービング選手権大会を開催するにあたり、主催者を代表し、ここに謹んでご挨拶を申し上げます。
全国のライフセーバーが一堂に会する全日本ライフセービング選手権大会も、第 50 回目を迎えることになりました。今日に至るまで多くの関係者の皆様が、脱々と繋いでいただいた歴史の重さを感じながら、今大会が開催できることを感慨深く感じております。
今大会では、全員が生命の尊厳を念頭に、ライフセービングスポーツを通じて「生命を救うスポーツ」という価値観を発信する機会でもあります。本年 8 月には、オーストラリアにおいて国際ライフセービング連盟主催の「Lifesaving World Championships 2024」が開催されました。その中で、オープン日本代表は SERC 種目において、初めて優勝を獲得することができました。これこそ我々が目指すべき姿であります。
我々のビジョン（目的）は「水辺の事故ゼロ」です。それを実現するために一番必要なことは、水辺の安全教育をしっかりと普及させていくことです。つまり「教育」にこそ本協会の担う役割があり根幹にある使命です。水辺における様々な活動において危険な状況にならないように「楽しみながら安全を考えて行動できる能力」を身につけるための教育の普及が重要です。そのために、このスポーツを通じて生命と向き合うことの大切さを楽しみながら広めていく、この大義こそが 50 回目を迎えることとなった証と認識しております。
単にスポーツの枠に収まらない団体として、スポーツの発展とともに教育や救命の活動を広め、全国のライフセーバーと手を取り合い、水辺の事故ゼロの実現をめざします。
結びとなりますが、本大会を開催するにあたり、ご協賛頂いました株式会社 SUBARU、株式会社 BS 日本、株式会社ポピンズ、株式会社櫻井興業、株式会社クレーマージャパン、またご支援ご協力を賜りました関係諸機関、関係各位に対しまして、心から御礼と感謝を申し上げます。

スポーツ庁長官
室伏 広治

第５０回全日本ライフセービング選手権大会が、神奈川県藤沢市において、開催されますことを、心からお祝い申し上げます。

本年で第５０回の節目を迎えられたことは、ひとえに選手の皆様方、そして大会を支える多くの方々の御尽力によるものであり、深く敬意を表する次第です。

ライフセービングは、単なるスポーツ競技にとどまらず、人命救助という崇高な使命を持つ活動です。「水辺の事故ゼロ」の実現に向け、選手の皆様が日々の訓練を通じて培った技術と精神力を発揮し、互いに切磋琢磨する姿は、私たちに大きな感動を与えてくれるものです。

選手の皆様におかれましては、日頃の活動の成果を存分に発揮していただくと共に、全国から集まった仲間との親睦を大いに深めてください。また、今後とも誰もが安心してマリンスポーツに親しめる環境づくりや水辺での事故の未然防止と安全確保のために、ますます御活躍されることを期待しております。

結びに、本大会の開催に御尽力されました公益財団法人日本ライフセービング協会をはじめ、関係の皆様に心から敬意を表しますとともに、本大会の御成功と選手の皆様の御健闘を祈念して、お祝いの言葉といたします。

神奈川県知事
黒岩 祐治

第 50 回全日本ライフセービング選手権大会が盛大に開催されますことをお喜び申し上げます。また、全国からお集りの皆様、920 万県民を代表し心から歓迎いたします。
本大会の会場である片瀬西浜海岸をはじめ、全国の海岸には、四季を通じて人々が集い、海水浴やサーフィン、ヨット、ダイビングなど、さまざまなマリンスポーツやレジャーを楽しんでいます。
子どもから御年配の方まで、多くの人々がこの美しい海、海岸で安心してマリンスポーツやレジャーを楽しむことができるのも、ライフセーバーの皆様が日頃から厳しいトレーニングを重ね、監視活動や救助活動に献身的に尽力されているたまものと、深く感謝申し上げます。
その一方で、残念ながら水辺に関する事故は後を絶たず、今シーズンも多くの事故が発生しており、水難事故防止が重要となっています。本大会に参加されるライフセーバーの皆様は、水辺の事故ゼロを目指し、日々技術とチームワークを培ってこられました。本日は、その成果を存分に発揮していただきたいと思います。
結びに、本大会の御成功と、日本ライフセービング協会のますますの御発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

藤沢市長
鈴木 恒夫

第５０回全日本ライフセービング選手権大会が、盛大に開催されますことをお祝い申しあげるとともに、国内各地からご参加の１０００名を超える選手並びに関係者の皆さまを、４４万藤沢市民を代表して心より歓迎いたします。
藤沢市は、美しい相模湾に面し、富士山も望むことができる気候温暖で住みやすいまちです。特に江の島は、浮世絵にも多く描かれた風光明媚な景勝地として栄え、歴史と文化のみなぎる地でもあります。
今年の夏も記録的な猛暑となり、多くの方が海を訪れましたが、人々に愛される美しい海も、時には自然の力の恐ろしさを見せつけます。私たちが安心して海を楽しめるのは、海の魅力と危険を熟知し、愛すべき海と人との程良い関係を支えてくださるライフセーバーの皆さまの存在があってこそと、改めて感謝申し上げます。
今大会は、ライフセーバーの技術の高さやチームワーク、活動内容を多くの方々に広め、理解を深めていただく絶好の機会です。参加される選手の皆様方におかれましては、日ごろの修練の成果を存分に発揮し、白熱した競技となることを期待します。
結びに、開催にあたりご尽力いただいた日本ライフセービング協会の限りないご発展と、参加される選手の皆さまのご健闘を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

裏表紙

OVERVIEW 大会概要

第５０回全日本ライフセービング選手権大会

The 50th JAPAN NATIONAL LIFESAVING CHAMPIONSHIPS

■日時場所 2024年10月12日(土)～14日(月祝) 片瀬西浜海岸（神奈川県藤沢市）

■主　催	公益財団法人日本ライフセービング協会
■後　援	国土交通省、スポーツ庁、消防庁、海上保安庁、神奈川県、藤沢市、日本赤十字社、公益社団法人日本水難救済会、公益社団法人藤沢市観光協会、公益財団法人日本水泳連盟
■協　賛	株式会社 SUBARU 株式会社 BS 日本（BS 日テレ） 株式会社ボビンズ 株式会社櫻井興業 株式会社クレーマージャパン
■協　力	江の島海水浴場協同組合、江の島片瀬漁業協同組合、株式会社オフサイド 公益財団法人かながわ海岸美化財団、一般社団法人神奈川県ライフセービング協会 鵠沼サーフショップ組合、鵠沼ビーチクリーンクラブ、株式会社湘南なぎさパーク 株式会社殿網、特定非営利活動法人西浜サーフライフセービングクラブ 日本サーフィン連盟 湘南藤沢支部、藤沢市漁業協同組合、 公益財団法人藤沢市みらい創造財団、三菱地所株式会社 横浜支店
■助　成	JSC スポーツ振興基金
■参加数	62 チーム 663 名

〔大会専用 LINE オープンチャット〕

競技結果速報や大会情報を主催者が発信いたします。
匿名性があり、いつでも退室できますので、お気軽に参加してください。

3 The 50th JAPAN LIFESAVING CHAMPIONSHIPS

株式会社SUBARU 様 広告

SUBARU

一つのいのち プロジェクト × 日本ライフセービング協会

「2030年 死亡交通事故ゼロ」をめざすSUBARUは、「水辺の事故ゼロ」をめざすJLAの想いに共感し、2020年からライフセーバーの監視救助活動をサポートするための車両として、「SUBARUライフセーバーカー」を提供してきました。
2024年はフォレスターをはじめとした計36台のライフセーバーカーがいのちを守るために全国で活躍しています。

いのちを守る取組み

SUBARUライフセーバーカーは、地域の巡回や安全指導、ビーチパトロールなどに活用され、全車に小型・軽量のAED（自動体外式除細動器）を配備し救命活動に役立てています。

AED（自動体外式除細動器）とは？
心臓がけいれんし血液を流すポンプ機能を失った状態（心室細動）になった心臓に対して、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。

ひとのいのちを守るために取り組むライフセーバーを
SUBARUは応援しています。

OFFICIAL/STAFF 関係者一覧

■大会役員

大会会長	入谷 拓哉（日本ライフセービング協会 理事長）	
大会副会長	高野 絵美（日本ライフセービング協会 副理事長）	松本 貴行（日本ライフセービング協会 副理事長）
大会役員	石川 仁憲（日本ライフセービング協会 常務理事）	鎌田 綾子（日本ライフセービング協会 理事）
	白井 勇喜（日本ライフセービング協会 理事）	田村 憲章（日本ライフセービング協会 理事）
	中川 容子（日本ライフセービング協会 理事）	平野 玲奈（日本ライフセービング協会 理事）
	細田 直彦（日本ライフセービング協会 理事）	

■実行委員会

実行委員長／セーフティーオフィサー	田村 憲章（ライフセービングスポーツ本部長）	
実行委員	青木 将展（ライフセービングスポーツ副本部長／スポーツ育成委員長）	上野 凌（ライフセービングスポーツ副本部長／スポーツ戦略委員長）
	出木谷 啓太（アスリート委員長）	板垣 俊輔（競技安全委員長）
	中島 典子（競技審判委員長）	錦織 功延（アンチ・ドーピング委員会）
	篠 岳瑠（西浜サーフライフセービングクラブ）	浜地 憲太郎（西浜サーフライフセービングクラブ）
	高野 絵美（広報室長）	水川 雅司（事務局職員／ライフセービングスポーツ副本部長）

■規律委員会

委員長	田村 憲章		
委員	青木 将展	川地 政夫	水川 雅司

■安全対策委員会

委員長	田村 憲章			
委員	中島 典子	浜地 憲太郎	川地 政夫	水川 雅司

■上訴委員会

委員長	田村 憲章	
委員	青木 将展	水川 雅司

■競技運営審判

チーフレフリー	中島 典子					
コンペティション・リエゾンオフィサー	藤田 善照	吉田 健博				
コーススーパーバイザー	栗栖 清浩					
ヘッドスコアラー	日馬 孝昌	南部 孝二	朽方 杏香 12,13	平井 太佳子 12,13	大矢 幸恵 13,14	谷本 栞乃 14
	大熊 明日香 14					
ビデオ記録員	大熊 順一	柏木 涼大	池田 葵	沢島 広斗	磯辺 光太郎	皆川 美優
	若原 遼哉	渡邊 愉太	原 昂汰			
IRB審判員	上野 義洋	門間 智幸 12,13	天川 仁 13,14	伊藤 隆寛 14		
マーシャル補佐（浜辺ラッシュ・ベスト・IRBデバイス記載補助）	大岡 麻紀 12	佐川 陽香 12,13	手塚 益弘 ス 13,1	鶴薫 理菜 14		
<ビーチエリア>						
セクショナルレフリー	泉田 昌美					
スターター	坂本 靖	奈良部 真弓	中村 勝 12,13	平藤 昌寛		
マーシャル	森田 桃子	髙野 冴都	田之上 紗和子			
コースジャッジ	梅田 裕章	長谷川 康二	中尾 正	中根 大文	八百市 亮太	榛澤 耀太
	髙井 翔太	石塚 康敬	一條 恵理子	佐藤 藍	須波 有咲	谷河 かのん
	林 優真	上村 真哉	山本 悠平	太田 魁 12,13	荒井 智弥 12,13	泉 沙智子 12,13
	櫻井 清喬 12,13	齋藤 良太 13,14	堀川 雅貴 13	原田 あい 14		
レコーダー	坂本 千佳子	川隅 しのぶ	平 志帆			
<サーフエリア>						
セクショナルレフリー	梶本 道彦					
スターター	五十嵐 章雄	青木 亮浩				
マーシャル	柳下 萌奏	輪島 由佳	池谷 良子 12,13	阿藤 千咲 14		
コースジャッジ	齋藤 健一郎	山下 純平	髙田 大輝	鈴木 崇大	髙品 桃	奈良 美穂
	堀 英介	外山 涼乃	奈良 颯大	濱名 沢希	小森 申大	山岡 杏未 12,13
	増田 朋之 12,13	小谷 凛乃 12,13	横野 美優 12,14	小笠原 哲也 13,14	小平 將介 13	宮川 太良 14
	久保 裕貴 14					
レコーダー	大山 ルミ	篠原 直希 12,14	嘉藁 萌子 13			

■総務

安全課	西浜サーフライフセービングクラブ					
	浜地 憲太郎	橋本 和樹	飯塚 剛志	清上 晴斗	小澤 知史	金川 もも
	石井 誠	岩井 義幸	近藤 大輝	髙橋 颯	牛澤 帆夏	山田 海斗
	鈴木 雷矢	立石 陸真	三浦 すず	石橋 知大	佐川 誠也	小林 巧
	友部 真也	鶴園 広海	森 陽菜子			
会場備品・設営	株式会社オフサイド					
司会実況	山本 ゆうじ	森 雅紀	上野 泰	鈴木 潤	和田 哲	
医務	朽方 槙喜					
救護・トレーナー	清水 伸子	国際武道大学トレーナーチーム				
気象海象情報	小川 和幸（WATER KIDS JAPAN）					
オフィシャルカメラ	菅沼 浩					
広報室	高野 絵美	山口 智史	菊地 太			
スポーツ育成委員会	青木 将展	荒井 宏和	小林 海	植木 将人（兼MC解説）		坂本 陸（兼MC解説）
スポーツ戦略委員会	上野 凌	小野 稜平	小森 健登	鈴木 耀太	中村 萌夏	戸向 陽介
	宮澤 あみ（撮影協力）					
アンチ・ドーピング委員会	錦織 功延	小西 由紀	島田 そら	吉村 菜々海	藤沢市薬剤師会	
学生委員会	福田 響	花澤 祐紀	髙橋 かのん	佃 遥介	徳嶺 仁美	牛澤 帆夏
	松本 勝己	世儀 十那実	服部 琉久			
運営協力	神奈川県	藤沢市	本多 通真（オフサイド）		神奈川県ライフセービング協会	
事務局	川地 政夫	佐藤 洋二郎	中山 昭	川名 健太郎	水川 雅司	

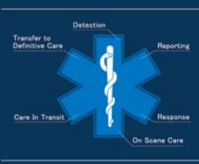
5 The 50th JAPAN LIFESAVING CHAMPIONSHIPS

株式会社櫻井興業 様 広告

GUARD CONCEPT

誰もが、失いたくない大切な人がいます。
そして人には守るべき人が必ずいます。それは妻であり、夫であり、子供、両親や恋人、友人など、そして自分自身です。
「守る」というイメージは、とかく献身的であったり、ストイックであったりします。
しかし、私たちは人が心の根底に持つ「愛」や「勇気」、「誇り」ととらえています。
あたたかく包まれるような、そんな気持ちをお互いが持ち合うことが、私達の考える「守ること」のイメージです。

そして、それがブランドコンセプトであり、守るべき大切な人の為に、私たちは製品をつくり続けています。



STAR OF LIFE

GUARDブランドのロゴでもあるSTAR OF LIFE(スターオブライフ)は、世界各国で使用されている救急救命のシンボルマークです。

Detection→覚知
Reporting→通報
Response→出場
On Scene Care→現場手当
Care In Transit→搬送中手当
Transfer to Definitive Care→医療機関への引渡し

STAR OF LIFE(スターオブライフ)の使命は尊い命を救う事

危機管理を喚起する
災害はいつ何時起こるのかわかりません、危機管理意識を忘れないように、スターオブライフマークが付いた製品を身に付けましょう。

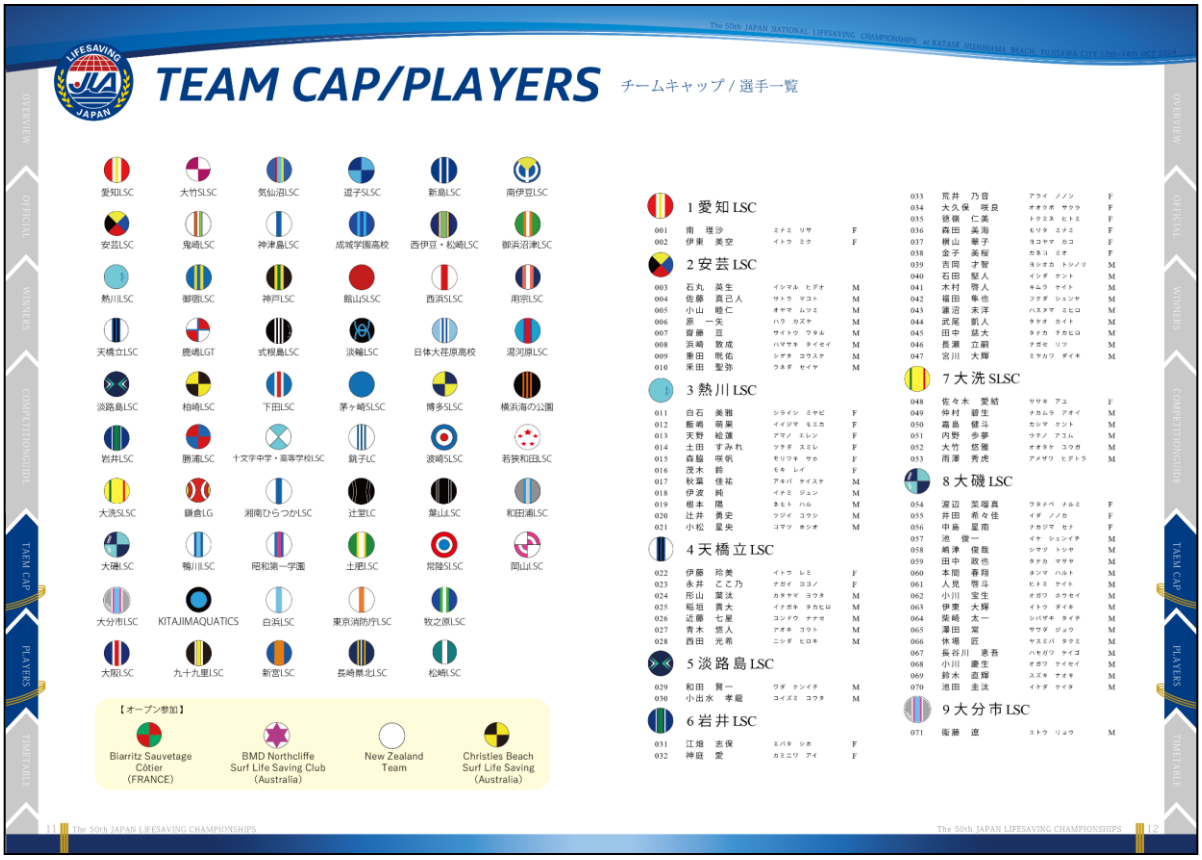
自己防衛
実際に事故発生時や、犯罪等に巻き込まれてしまった時に役立つ製品が多いのが、スターオブライフ製品の特長のひとつです。

大切な人を守れるのは自分自身
誰もが、失いたくない大切な人がいます。守るべき大切な人の為に私達はスターオブライフ製品をつくり続けています。

GUARDブランドは、救命率を向上させる事が使命
売上の一部は救命救急の普及活動を行っている団体に役立てております

QRコードから GUARDサイトを見る

株式会社ポピンズ 様 広告



TEAM CAP/PLAYERS チームキャップ / 選手一覧

愛知LSC　大竹SLSC　気仙沼LSC　逗子SLSC　新島LSC　南伊豆LSC
安芸LSC　鬼崎LSC　神津島LSC　成城学園高校　西伊豆・松崎LSC　御浜沼津LSC
熱川LSC　御宿LSC　神戸LSC　館山SLSC　西浜SLSC　用宗LSC
天橋立LSC　鹿嶋LGT　式根島LSC　淡輪LSC　日体大荏原高校　湯河原LSC
淡路島LSC　柏崎LSC　下田LSC　茅ヶ崎SLSC　博多SLSC　横浜海の公園
岩井LSC　勝浦LSC　十文字中学・高等学校LSC　銚子LC　波崎SLSC　若狭和田LSC
大洗SLSC　鎌倉LG　浦南ひらつかLSC　辻堂LC　葉山LSC　和田浦LSC
大磯LSC　鴨川LSC　昭和第一学園　土肥LSC　常陸SLSC　岡山LSC
大分市LSC　KITAJIMAQUATICS　白浜LSC　東京消防庁LSC　牧之原LSC
大阪LSC　九十九里LSC　新宮LSC　長崎県北LSC　松崎LSC

【オープン参加】
Biarritz Sauvetage Côtier (FRANCE)
BMD Northcliffe Surf Life Saving Club (Australia)
New Zealand Team
Christies Beach Surf Life Saving (Australia)

1 愛知 LSC

001	南　理沙	ミナミ　リサ	F
002	伊東　美空	イトウ　ミク	F

2 安芸 LSC

003	石丸　英生	イシマル　ヒデオ	M
004	佐藤　真己人	サトウ　マコト	M
005	小山　暁仁	オヤマ　ムツヒ	M
006	原　一矢	ハラ　カズヤ	M
007	深藤　豆	サイトウ　ワタル	M
008	浜崎　敦成	ハマサキ　タイセイ	M
009	重田　既佑	シゲタ　コウスケ	M
010	采田　聖弥	ウネダ　セイヤ	M

3 熱川 LSC

011	白石　美雅	シライシ　ミヤビ	F
012	飯嶋　萌果	イイジマ　モミカ	F
013	天野　絵蓮	アマノ　エレン	F
014	土田　すみれ	ツチダ　スミレ	F
015	森脇　呼帆	モリワキ　サホ	F
016	茂木　鈴	モキ　レイ	F
017	秋葉　佳祐	アキバ　ケイスケ	M
018	伊波　純	イナミ　ジュン	M
019	根本　隠	ネモト　ハル	M
020	辻井　勇史	ツジイ　ユウシ	M
021	小松　皇央	コマツ　ホシオ	M

4 天橋立 LSC

022	伊藤　玲美	イトウ　レミ	F
023	永井　ここ乃	ナガイ　ココノ	F
024	形山　菜汰	カタヤマ　ヨウタ	M
025	稲垣　貴大	イナガキ　タカヒロ	M
026	近藤　七星	コンドウ　ナナセ	M
027	青木　悠人	アオキ　ユウト	M
028	西田　光希	ニシダ　ヒロキ	M

5 淡路島 LSC

029	和田　賢一	ワダ　ケンイチ	M
030	小出水　孝庭	コイズミ　コウタ	M

6 岩井 LSC

031	江畑　志保	エバタ　シホ	F
032	神庭　愛	カミニワ　アイ	F
033	荒井　乃音	アライ　ノノン	F
034	大久保　咲良	オオクボ　サクラ	F
035	鈴鹿　仁美	スクミカ　ヒトミ	F
036	森田　美海	モリタ　ミナミ	F
037	横山　華子	ヨコヤマ　カコ	F
038	金子　美桜	カネコ　ミオ	F
039	吉岡　才智	ヨシオカ　トシノリ	M
040	石田　駿人	イシダ　ケント	M
041	木村　啓人	キムラ　ケイト	M
042	福田　隼也	フクダ　ジュンヤ	M
043	瀬沼　未洋	ハスヌマ　ミヒロ	M
044	武尾　凱人	タケオ　カイト	M
045	田中　益太	タナカ　ヤカヒロ	M
046	長瀬　立嗣	ナガセ　リツ	M
047	宮川　大輝	ミヤカワ　ダイキ	M

7 大洗 SLSC

048	佐々木　愛結	ササキ　アユ	F
049	仲村　碧生	ナカムラ　アオイ	M
050	高島　健斗	カシマ　ケント	M
051	内野　歩夢	ウチノ　アユム	M
052	大竹　悠雅	オオタケ　ユウガ	M
053	雨澤　秀虎	アメザワ　ヒデトラ	M

8 大磯 LSC

054	渡辺　菜瑠真	ワタナベ　ナルミ	F
055	井田　希々佳	イダ　ノノカ	F
056	中島　星雨	ナカジマ　セア	F
057	池　俊一	イケ　シュンイチ	M
058	嶋津　俊亀	シマヅ　トシヤ	M
059	田中　政也	タナカ　マサヤ	M
060	本間　春翔	ホンマ　ハルト	M
061	人見　啓斗	ヒトミ　ケイト	M
062	小川　宝生	オガワ　ホウセイ	M
063	伊東　大輝	イトウ　ダイキ	M
064	柴崎　太一	シバザキ　タイチ	M
065	澤田　常	サワダ　ジョウ	M
066	仲場　匠	ナカバ　タクミ	M
067	長谷川　恵吾	ハセガワ　ケイゴ	M
068	小川　慶生	オガワ　ケイセイ	M
069	鈴木　直輝	スズキ　ナオキ	M
070	池田　圭汰	イケダ　ケイタ	M

9 大分市 LSC

071	梅藤　遼	ユトウ　リョウ	M

株式会社クレーマージャパン 様 広告

PLAYERS 選手一覧

10 大阪 LSC

072	世儀　十那実	セギ　トナミ	F
073	森井　勇	モリイ　ヒサシ	M
074	玉木　力也	タマキ　リキヤ	M
075	坂本　陽太	サカモト　ヨウタ	M
076	那須　恵樹	ナス　アキキ	M
077	山本　涼斗	ヤマモト　ケイト	M
078	小西　翔真	コニシ　ショウマ	M
079	林　巧	ハヤシ　タクミ	M

11 大竹 SLSC

080	八島　理穂子	ヤシマ　リホコ	F
081	木村　瑞希	キムラ　ミズキ	F
082	吉村　莉衣子	ヨシムラ　レイコ	F
083	染谷　澪	ソメヤ　ミオ	F
084	二重作　真央	フタエサク　マヒロ	F
085	佐々木　俊介	ササキ　シュンスケ	M
086	萩村　隼士	ハギムラ　ハヤト	M
087	窪　大樹	クボ　ダイキ	M
088	三浦　洸樹	ミウラ　ミズキ	M
089	辻　翔太郎	ツジ　ショウタロウ	M
090	田中　健士	タナカ　ツヨシ	M
091	鈴木　千穂	スズキ　カズホ	M
092	鶴薗　宏海	ツルゾノ　ヒロウミ	M

12 鬼崎 SLSC

093	鈴木　雄三	スズキ　ユウゾウ	M
094	中村　嶺	ナカムラ　レイ	M
095	稲垣　圭亮	イナガキ　ケイスケ	M
096	内藤　健太	ナイトウ　ケンタ	M

13 御宿 LSC

097	加藤　優汰	カトウ　ユウタ	M
098	大内　悠矢	オオウチ　ユウヤ	M

14 鹿嶋 LGT

099	有田　蓮泉	アリタ　ハスミ	F
100	坂本　耀	サカモト　ヒカリ	F
101	松元　愛海	マツモト　アイミ	F
102	坂本　歩美	サカモト　アユミ	F
103	山崎　栞音	ヤマザキ　カノン	F
104	紀野　世怜菜	キノ　セレナ	F
105	古澤　すみれ	フルサワ　スミレ	F
106	阪井　彩夏	サカイ　アヤカ	F
107	須田　邦彦	スダ　クニヒコ	M
108	中原　佑太	ナカハラ　ユウタ	M
109	田中　悠葵	タナカ　ユウキ	M
110	糸数　翔伍	イトカズ　ショウゴ	M
111	吉永　裕亮	ヨシナガ　ユウスケ	M
112	中林　拓海	チカバヤシ　タクミ	M
113	鈴木　義啓	スズキ　ヨシヒロ	M
114	小橋　廣太朗	コバシ　レンタロウ	M
115	山下　東紀	ヤマシタ　ハルキ	M
116	鈴木　大翔	スズキ　ヒロト	M

15 柏崎 LSC

117	池谷　雅美	イケタニ　マサミ	F
118	陣訪　智子	スワ　サトコ	F
119	高橋　志穂	タカハシ　シホ	F
120	山崎　さくら	ヤマザキ　サクラ	F
121	吉田　千柚	ヨシダ　チユ	F
122	佐藤　梅羽	サトウ　アヤハ	F
123	池谷　薫	イケタニ　カオル	M
124	中島　良平	ナカジマ　リョウヘイ	M
125	長内　瑠輝	オサナイ　ルカ	M
126	山田　祐熙	ヤマダ　ユウキ	M
127	藤巻　達哉	フジマキ　ハルキ	M
128	掛川　航喜	カケガワ　コウキ	M
129	米山　昊平	ヨネヤマ　コウヘイ	M

16 勝浦 LSC

130	高梨　帆南	タカナシ　ホナミ	F
131	武居　令	タケエ　レイ	F
132	常盤　珠絆	トキワ　ジュナ	F
133	高梨　夏生	タカナシ　ナツキ	F
134	内田　直人	ウチダ　ナオト	M
135	安達　基太	アダチ　ユウタ	M
136	石塚　謙太	イシツカ　ケンタ	M
137	楠本　慶明	クスモト　ノリアキ	M
138	堀江　星河	ホリエ　ショウゴ	M
139	高野　英陽	タカノ　ショウカク	M
140	齋藤　光海	サイトウ　コウ	M
141	嶋田　直希	シマダ　ナオキ	M
142	薄谷　太一	ウラガイ　タイチ	M

17 鎌倉 LG

143	重松　胡々	シゲマツ　ココ	F
144	今野　恵	コンノ　メグミ	F
145	加藤　香織	カトウ　カオリ	F
146	内藤　希音	ナイトウ　ネネ	F
147	吉田　蓋	ヨシダ　アオイ	F

日本光電工業株式会社 様 広告

PLAYERS 選手一覧

148	大西　明	オオニシ アキラ	M
149	高橋　泰地	タカハシ タイチ	M
150	高萩　輝	タカハギ アキラ	M
151	中山　颯太	ナカヤマ ソウタ	M

18 鴨川LSC

152	石塚　円香	イシヅカ マドカ	F
153	小谷　千幸	コタニ チサ	F
154	田中　綾	タナカ アヤ	F
155	中野　飛奈	ナカノ ヒナ	F
156	佐々木　奏	ササキ カナ	F
157	佐野　涼楓	サノ スズカ	F
158	萩原　麻乃	ハギワラ アサノ	F
159	森野　郁也	モリノ フミヤ	M
160	森下　広大	モリシタ コウダイ	M
161	江川　隼冬	エガワ ハヤト	M
162	渋谷　碩紀	シブタニ セキノリ	M
163	藤倉　湧也	フジクラ ユウヤ	M
164	渡邉　春季	ワタナベ ハルキ	M
165	船山　暖	フナヤマ ダン	M

19 KITAJIMAQUATICS

166	冨本　康隆	フキモト ヤスタカ	M
167	高田　夏都	タカダ ナツ	M

20 九十九里LSC

168	佐々木　萌衣	ササキ モエ	F
169	中村　虹雨	ナカムラ コナ	F
170	鈴木　悠花	スズキ ユカ	F
171	駒谷　帆香	コマヤ ホノカ	F
172	山中　みのり	ヤマナカ ミノリ	F
173	中茎　祥	ナカグキ サチ	F
174	須和田　紗也	スワダ サヤ	F
175	笹子　海凪	ササコ カナ	F
176	東　きらり	ヒガシ キラリ	F
177	宮島　和花	ミヤジマ ワカ	F
178	板垣　俊輔	イタガキ シュンスケ	M
179	出木谷　啓太	デキヤ ケイタ	M
180	川田　航平	カワタ コウヘイ	M
181	池端　拓海	イケハタ タクミ	M
182	柿崎　稔	カキサキ ミノル	M
183	高松　夏一	タカマツ カイチ	M
184	若杉　京	ワカスギ ケイ	M
185	藤田　駿平	フジタ シュンペイ	M
186	石附　巧巳	イシヅキ タクミ	M
187	渡邊　航矢	ワタナベ コウヤ	M
188	日下　大空	クサカ ソラ	M
189	堀田　恵路	ホッタ メグル	M
190	坂本　恒	サカモト コウ	M
191	設楽　大樹	シダラ ダイキ	M
192	平石　龍衣	ヒライシ リュウイ	M
193	松沢　響	マツザワ ヒビキ	M
194	小竹　優斗	コタケ ユウト	M
195	杉山　悠翔	スギヤマ ハルカ	M
196	関口　瑠天	セキグチ リュウシン	M
197	八島　鷹輔	ヤシマ ヨウスケ	M
198	大山　泰征	オオヤマ タイセイ	M
199	江村　孝祐	エムラ コウスケ	M
200	望月　朝陽	モチヅキ アサヒ	M
201	川井　鼓太郎	カワイ コタロウ	M
202	雨宮　凛空	アメミヤ リク	M
203	藤家　生大	フジイエ セイ	M

21 気仙沼LG

204	大志田　紀子	オオシダ ノリコ	F
205	浦　健太	ウラ ケンタ	M

22 神津島LSC

206	石野田　凜	イシノダ リン	F
207	上泰　ロキサナ	ジョウタイ ロキサナ	F
208	石井　友唯	イシイ ユイ	F
209	庄内　真波路	ショウナイ マハロ	F
210	相馬　幸音	ソウマ ユキネ	F
211	大道　圭希	オオミチ ケイマ	M
212	石井　佳汰	イシイ ケイタ	M
213	奥村　慎悟	オクムラ シンゴ	M
214	清水　颯斗	シミズ ハヤト	M
215	檜山　幸佑	ヒヤマ コウスケ	M
216	島袋　準太	シマブクロ ジュンタ	M
217	三木　優人	ミキ ユウト	M

23 神戸LSC

218	松尾　京香	マツオ キョウカ	F
219	松田　優来	マツダ ユラ	F
220	大槻　悠羽	オオツキ ユウ	M
221	有田　遂夢	アリタ スイム	M
222	山本　竜也	ヤマモト タツヤ	M
223	井上　圭司	イノウエ ケイジ	M
224	島袋　李陸	シマブクロ リリク	M

24 式根島LSC

225	田中　麻美	タナカ マミ	F
226	石川　孝太	イシカワ コウタ	M
227	上遠野　元太	カドワノ ゲンタ	M

PLAYERS 選手一覧

25 下田LSC

228	榎本　由里	エノモト ユリ	F
229	石野　夏未	イシノ ナツミ	F
230	進士　佳乃	ジンジ カノ	F
231	石黒　七都	イシグロ ナツ	F
232	吉岡　彩夏	ヨシオカ アヤカ	F
233	今井　柚歩	イマイ ユズホ	F
234	池田　爽花	イケダ サワカ	F
235	内藤　夏空	ナイトウ ナツネ	F
236	松島　颯音	マツシマ カザネ	F
237	三浦　すず	ミウラ スズ	F
238	橋本　歩佳	ハシモト アユカ	F
239	小坂　結可	コサカ ユウカ	F
240	大野　實咲	オオノ ミサキ	F
241	田中　彩菜恵	タナカ サナエ	F
242	見城　里那	ケンジョウ リナ	F
243	堺澤　舞香	サカイザワ マイカ	F
244	古屋　凛夏	フルヤ リンカ	F
245	加藤　沙和	カトウ サワ	F
246	加藤　つばさ	カトウ ツバサ	F
247	川上　瑚白	カワカミ コハク	F
248	江田　望実	エダ ノゾミ	F
249	山口　智史	ヤマグチ サトシ	M
250	須藤　凪	スドウ ナギ	M
251	森井　遼	モリイ リョウ	M
252	吉武　慶太	ヨシタケ ケイタ	M
253	竹前　海誠	タケマエ カイセイ	M
254	市川　樹莉也	イチカワ ジュリヤ	M
255	及川　翔太	オイカワ ショウタ	M
256	榎本　宏暉	エノモト ヒロキ	M
257	友部　真也	トモベ シンヤ	M
258	水野　隼	ミズノ ハヤト	M
259	森田　大地	モリタ ダイチ	M
260	田村　崚汰	タムラ リョウタ	M
261	山下　凱吏	ヤマシタ カイリ	M
262	尾内　悟	オナイ サトル	M
263	田代　晃啓	タシロ アキヒロ	M
264	宮本　大輝	ミヤモト ダイキ	M
265	加賀田　哲也	カガタ テツヤ	M
266	吉田　海斗	ヨシダ カイト	M
267	松沢　斉	マツザワ ヒトシ	M

26 十文字中学・高等学校LSC

268	後藤　優花	ゴトウ ユウカ	F
269	秋山　萌杏奈	アキヤマ モアナ	F
270	草道　菜々子	クサミチ ナナコ	F
271	田中　美帆	タナカ ミホ	F
272	中村　美来	ナカムラ ミライ	F

27 湘南ひらつかLSC

273	金子　彩紀	カネコ サキ	F
274	植田　愛子	ウエダ アイコ	F
275	鈴木　亜希	スズキ アキ	F
276	廣戸　桜優	ヒロト ミユ	F
277	福岡　藍人	フクオカ アイト	M
278	赤川　慶	アカガワ ケイ	M
279	新井　圭	アライ ケイ	M
280	花塚　修斗	ハナヅカ シュウト	M
281	大和田　隆行	オオワダ タカユキ	M

28 昭和第一学園高等学校LSC

282	渡邉　瑠奈	ワタナベ ルナ	F
283	小島　羽呼	コジマ ワコ	F
284	田代　遥歌	タシロ ハルカ	F
285	有泉　舞香	アリイズミ マイカ	F
286	藤本　航大	フジモト コウダイ	M
287	小野村　圭敏	オノムラ ヨシト	M
288	狩野　拓真	カノウ タクマ	M
289	荻原　悠太	オギワラ ユウタ	M
290	内藤　孝治	ナイトウ タカハル	M

29 白浜LSC

291	小川　笑子	オガワ エコ	F
292	久下谷　花音	クガヤ ハナネ	F
293	山田　結	ヤマダ ユイ	F
294	松岡　鈴奈	マツオカ スズナ	F
295	有泉　咲希	アリイズミ サキ	F
296	井上　こなつ	イノウエ コナツ	F
297	中山　渚	ナカヤマ ナギサ	F
298	塚根　小夏	ツカネ コナツ	F
299	村岸　郁哉	ムラギシ イクヤ	M
300	原　柊太	ハラ シュウタ	M
301	宮本　幸生	ミヤモト コウセイ	M
302	安田　隆偉	ヤスダ ルイ	M
303	木下　蒼也	キノシタ ソウヤ	M
304	下村　洋介	シモムラ ヨウスケ	M
305	山崎　航汰	ヤマザキ コウタ	M

30 新宮LSC

306	山本　三奈	ヤマモト ミナ	F

31 逗子SLSC

307	光藤　果歩	ミツドウ カホ	F
308	辻本　珠才	ツジモト ミサ	F
309	石田　彩海	イシダ アヤミ	F
310	熊井戸　里咲	クマイド リサ	F
311	岩﨑　花夏	イワサキ ハルカ	F
312	湯澤　千咲	ユザワ ハナ	F
313	石井　優愛	イシイ ユウナ	F
314	菊池　太陽	キクチ タイヨウ	M
315	岩井　翔悟	イワイ ショウゴ	M
316	大森　海依	オオモリ カイ	M
317	内藤　創太	ナイトウ ソウタ	M
318	赤海　航亮	アカウミ コウスケ	M
319	男沢　壮真	オトコザワ ソウマ	M
320	梅澤　倫太朗	ウメザワ リンタロウ	M
321	宮谷　泰征	ミヤタニ タイセイ	M
322	佐藤　生都	サトウ キイト	M

32 成城学園高等学校LSC

323	折原　まゆ	オリハラ マユ	F
324	田中　奈々子	タナカ ナナコ	F
325	宍戸　晴奏	シシド ハルカ	F
326	廣井　柚樹	ヒロイ ユズキ	M
327	郷　晴成	ゴウ ハルキ	M
328	江渕　匡祐	エブチ キョウスケ	M
329	笠井　謙	カサイ ケン	M
330	勝俣　太陽	カツマタ タイヨウ	M
331	末松　歩	スエマツ アユム	M
332	櫻井　惇太	サクライ ジュンタ	M

33 館山SLSC

333	矢上　結月	ヤガミ ユヅキ	F
334	矢上　陽葉	ヤガミ キヨハ	F
335	藤﨑　笑佳	フジサキ エミカ	F
336	吉田　絢香	ヨシダ アヤカ	F
337	松尾　玲奈	マツオ レナ	F
338	成海　幸波	ナルミ サナ	F
339	合原　楓	ゴウハラ カエデ	F
340	新井　真央	アライ マオ	F
341	三井　結里花	ミツイ ユリカ	F
342	小川　七海	オガワ ナナミ	F
343	徳応　涼輔	トクオ リョウスケ	M
344	是永　颯汰	コレナガ ソウタ	M
345	増永　海翔	マスナガ カイト	M
346	小泉　勇太	コイズミ ユウタ	M
347	大川　恒輝	オオカワ コウキ	M
348	小松　壮	コマツ ソウ	M
349	亀井　嘉直	カメイ ヨシナオ	M
350	重岡　寛大	シゲオカ ヒロヤ	M
351	篠田　智哉	シノダ トモヤ	M
352	鈴木　陽琉	スズキ アタル	M
353	佐藤　和伯	サトウ カズノリ	M
354	都築　拓馬	ツヅキ タクマ	M
355	伊藤　孝彦	イトウ タカヒコ	M

34 淡輪LSC

356	田辺　琉愛	タナベ リュウナ	F
357	西野　なずな	ニシノ ナズナ	F
358	加来　礼佳	アヤカ アヤカ	F
359	佃　遥介	ツクダ ヨウスケ	M
360	西田　一生	ニシダ カズキ	M
361	長束　祐希	ナガツカ ユウキ	M
362	杉本　大和	スギモト ヤマト	M
363	中村　拓翔	ナカムラ タクト	M
364	石井　大翔	イシイ ハルト	M
365	下山　竜也	シモヤマ リュウヤ	M
366	大西　飛翔	オオニシ ツバサ	M

35 茅ヶ崎SLSC

367	猪又　美佳	イノマタ ミカ	F
368	名須川　紗綾	ナスカワ サアヤ	F
369	西尾　栞	ニシオ シオリ	F
370	酒井　紫帆	サカイ シホ	F
371	甚内　優那	ジンナイ ユウナ	F
372	中丸　智貴	ナカマル トモキ	M
373	河野　甫	コウノ ハジメ	M
374	平井　幹	ヒライ モトキ	M
375	中島　工輔	ナカジマ コウスケ	M
376	本名　新	ホンナ アラタ	M
377	宝満　橋平	ホウマン キョウヘイ	M
378	後川　由眞	ウシロカワ ユウマ	M
379	杉崎　大馳	スギザキ ダイチ	M

36 銚子LC

380	宮田　沙依	ミヤタ サヨリ	F
381	前川　紗楓	マエカワ サキ	F
382	菊地　琴梨	キクチ コトリ	F
383	田畑　有香	タバタ ユカ	F
384	中川　はな	ナカガワ ハナ	F
385	富原　望々香	トミハラ ノノカ	F
386	森　新太郎	モリ シンタロウ	M
387	岡部　直人	ナオト	M
388	加藤　拓也	カトウ タクヤ	M

PLAYERS 選手一覧

389	堀内 敦貴	ホリウチ アツキ	M
390	富山 正樹	トミヤマ マサキ	M
391	安原 慶	ヤスハラ ケイ	M
392	三好 雄稀	ミヨシ ユウキ	M
393	猪股 大地	イノマタ ダイチ	M
394	京野 裕真	キョウノ ユウマ	M
395	西部 松成	ニシベ マツナリ	M
396	古金 源太	フルカネ ゲンタ	M
397	竹山 諒	タケヤマ リョウ	M
398	岩本 脩希	イワモト ハルキ	M
399	中根 弘貴	ナカネ ヒロキ	M
400	大野 敦士	オオノ アツシ	M

37 辻堂LC

401	水元 真	ミズモト マコト	M
402	平岡 由宇	ヒラオカ ユウ	M
403	松尾 悠汰	マツオ ユウタ	M
404	鈴木 拓真	スズキ タクマ	M
405	西島 琉生	ニシジマ ルキ	M
406	川村 隼人	カワムラ ハヤト	M
407	内野 隼	ウチノ ハヤト	M

38 土肥LSC

408	眞下 楓梨	マシモ カリン	F
409	新井 珠依	アライ シュイ	F
410	野中 こころ	ノナカ ココロ	F
411	小林 蘭	コバヤシ ラン	F
412	新堀 進悟	ニイボリ シンゴ	M
413	河嶋 大地	カワシマ ダイチ	M
414	原田 大暉	ハラダ タイキ	M
415	丸山 剛誠	マルヤマ カイセイ	M
416	山口 紺	ヤマグチ コウ	M
417	山本 寛	ヤマモト カン	M
418	伊東 悠晏	イトウ ユアン	M
419	池野谷 浬玖	イケノヤ リク	M
420	菊地 優杜	キクチ ユウト	M

39 東京消防庁LSC

421	高木 惇暉	タカギ トシキ	M
422	落合 慶二	オチアイ ケイジ	M
423	佐藤 翔一	サトウ ショウイチ	M
424	後関 裕輔	ゴセキ ユウスケ	M

40 長崎県北LSC

425	桝屋 桃花	マスヤ モモカ	F

41 新島LSC

426	金坂 佳瑛	カネサカ ヨシエ	F
427	井坂 行人	イサカ ユキト	M
428	服部 琉久	ハットリ リク	M
429	安立 海都	アダチ カイト	M
430	菅谷 琉海	スガヤ リュウ	M
431	宮澤 渓	ミヤザワ ケイ	M

42 西伊豆LSC

432	橋本 結花	ハシモト ユイカ	F
433	吉田 光葉	ヨシダ ミツハ	F
434	吉田 陽向	ヨシダ ヒナタ	F
435	田口 祐衣	タグチ ユイ	F
436	爲田 樹里	タメタ ジュリ	F
437	村尾 美海	ムラオ ミウ	F
438	早尾 梓	ハヤオ アズサ	F
439	土屋 愛	ツチヤ マナ	F
440	櫻井 杏水	サクライ アミ	F
441	金子 碧依	カネコ アオイ	F
442	湯蓋 彩	ユブタ アヤ	F
443	倉上 愛理	クラカミ アイリ	F
444	鶴屋 遥香	ツルヤ ハルカ	F
445	木島 結音	キジマ ユイネ	F
446	寺尾 匡人	テラオ マサト	M
447	志村 友翼	シムラ ユウスケ	M
448	山本 大輝	ヤマモト タイキ	M
449	香味 翼	コウミ ツバサ	M
450	福田 健太	フクダ ケンタ	M
451	川端 優輝	カワバタ ユウキ	M
452	花澤 祐紀	ハナザワ ユウキ	M
453	加藤 春	カトウ ハル	M
454	二瓶 航	ニヘイ ワタル	M

43 西浜SLSC

455	片平 悠理亜メリッサ	カタヒラ ユリアメリッサ	F
456	富田 優佳子	トミタ ユカコ	F
457	関口 瑠唯	セキグチ ルイ	F
458	富田 和佳子	トミタ ワカコ	F
459	奥野 結実	オクノ ユミ	F
460	小野 文穂	オノ アヤホ	F
461	佐藤 志帆子	サトウ シホコ	F
462	森 多緒	モリ タオ	F
463	塚越 心	ツカコシ ココロ	F
464	菊池 夏妃	キクチ ナツキ	F
465	河原 彩那	カワハラ アヤナ	F
466	浜地 沙羅	ハマジ サラ	F
467	兼田 笑那	カネダ エナ	F
468	古賀 夏美	コガ ナツミ	F
469	槍田 愛	ウツダ マナ	F
470	関口 莉歩	セキグチ リホ	F
471	三浦 梨奈	ミウラ リナ	F
472	勝部 巽	カツベ ワタル	M
473	井出 駿悟	イデ シュンゴ	M
474	園田 俊	ソノダ スグル	M
475	西川 遥人	ニシカワ ハルト	M
476	相澤 虎大	アイザワ コダイ	M
477	田畑 佑笑	タバタ ユウショウ	M
478	志賀 海征	シガ カイセイ	M
479	志賀 海空	シガ ミソラ	M
480	山田 海斗	ヤマダ カイト	M
481	坂本 真徳	サカモト マサトク	M
482	岸 瑛心	キシ エイシン	M
483	浜地 櫂依	ハマジ カイ	M
484	小川 結生	オガワ ユウキ	M
485	池戸 真誉	イケド マコ	M
486	石橋 知大	イシバシ トモヒロ	M
487	成田 湊	ナリタ ミナト	M
488	上野 凌	ウエノ リョウ	M
489	石田 宙	イシダ ソラ	M
490	鈴木 太陽	スズキ タイヨウ	M
491	井上 祐里	イノウエ ユウリ	M
492	荒井 洋佑	アライ ヨウスケ	M
493	布方 勇海	ヌノカタ イサミ	M
494	高田 理世	タカダ リセイ	M
495	布方 達海	ヌノカタ タツミ	M
496	新川 将吾	ニッカワ ショウゴ	M
497	井上 大地	イノウエ タイチ	M

44 日体大荏原高等学校LSC

498	橋本 実歩	ハシモト ミホ	F
499	八谷 倖愛	ヤタガイ ココア	F
500	村井田 怜花	ムライダ レイカ	F
501	岸 愛姫	キシ マキ	F
502	山本 蘭花	ヤマモト ラン	F
503	杉野 恵美乃	スギノ エミナ	F
504	佐々木 心夏	ササキ コナツ	F
505	村尾 風杏	ムラオ フウア	F
506	樹山 勇飛	キヤマ ユウヒ	M
507	青山 希助	アオヤマ キスケ	M
508	蔵田 遼	クラタ リョウ	M
509	片桐 稜馬	カタギリ リョウマ	M
510	長谷川 澪	ハセガワ ミオ	M
511	大久保 良祐	オオクボ リョウスケ	M
512	中村 孔信	ナカムラ ヨシノブ	M
513	斎藤 優心	サイトウ ユウシン	M

45 博多SLSC

514	平出 秋	ヒライデ シュウ	F
515	藤本 力	フジモト チカラ	M
516	川本 耀介	カワモト ヨウスケ	M

46 波崎SLSC

517	藤平 優衣	トウヘイ ユイ	F
518	小川 芽依	オガワ メイ	F
519	宮川 千鶴	ミヤガワ チヅル	F
520	浜田 実歩	ハマダ ミホ	F
521	瀧藤 さくら	タキトウ サクラ	F
522	岡田 帆夏	オカダ ホノカ	F
523	木下 莉里愛	キノシタ リリア	F
524	田中 伶奈	タナカ レイナ	F
525	佐藤 花映	サトウ ハナエ	F
526	米澤 圭	ヨネザワ ケイ	F
527	緑川 航太	ミドリカワ コウタ	M
528	山西 竜	ヤマニシ リョウ	M
529	中澤 貫太	ナカザワ カンタ	M
530	福田 伊織	フクダ イオリ	M
531	谷口 遥風	タニグチ ハルカゼ	M
532	髙橋 響助	タカハシ キョウスケ	M
533	水野 虹泳	ミズノ コウエイ	M
534	山嵜 大飛	ヤマザキ ダイト	M
535	尾木 貴允	オギ タカミツ	M
536	奈良 行祐	ナラ コウスケ	M
537	榎戸 暖	エノキド ダン	M
538	宮川 太良	ミヤカワ タロウ	M
539	竹田 光希	タケダ ミツキ	M
540	石黒 徳	イシグロ アキラ	M

47 葉山LSC

541	小田 耕太	オダ コウタ	M
542	大羽 琉晴	オオバ リュウセイ	M

48 常陸SLSC

543	平野 玲奈	ヒラノ レイナ	F
544	白鳥 紗貴	シラトリ サキ	F
545	正能 愛里	ショウノウ アイリ	F
546	戸田 莉央	トダ リオ	F
547	田丸 純太朗	タマル ジュンタロウ	M
548	伊藤 諒太	イトウ リョウタ	M
549	牧野 友海	マキノ トモミ	M
550	関 健将	セキ ケンショウ	M

PLAYERS 選手一覧

49 牧之原LSC

551	牛澤 帆夏	ウシザワ ホノカ	F
552	島倉 遥乃	シマクラ ハルノ	F
553	沖山 朱	オキヤマ アヤ	F
554	南 優花	ミナミ ユカ	F
555	山極 澄夏	ヤマギワ スミカ	F
556	富山 直樹	トミヤマ ナオキ	M
557	尾崎 竜	オザキ リョウ	M
558	黒部 幹太	クロベ カンタ	M
559	松本 勝己	マツモト カツキ	M
560	榎園 空	エノキゾノ クウ	M

50 松崎LSC

561	海老澤 椛	エビサワ モミジ	F
562	石井 柚衣	イシイ ユイ	F
563	永田 春菜	ナガタ ハルナ	F
564	野口 花鈴	ノグチ カリン	F
565	島崎 裕馬	シマザキ ユウマ	M

51 南伊豆LSC

566	本間 南海	ホンマ ナミ	F
567	荒木 菜月	アラキ ナツキ	F
568	飯田 充紀	イイダ ミツキ	F
569	岩元 亜香里	イワモト アカリ	F
570	越川 えり	コシカワ エリ	F
571	鹿取 初姫	カトリ ハツキ	F
572	髙橋 若菜	タカハシ ワカナ	F
573	近本 ひなの	チカモト ヒナノ	F
574	後野 百香	ウシロノ モモカ	F
575	鈴木 日奈子	スズキ ヒナコ	F
576	田村 実絵	タムラ ミエ	F
577	狩野 陽太	カノウ ヨウタ	M
578	中山 孟徳	ナカヤマ タケノリ	M
579	森田 翔允	モリタ ショウイン	M
580	染谷 騎平	ソメヤ キッペイ	M
581	内山 弘基	ウチヤマ ヒロキ	M
582	小久江 翔	オグエ ショウ	M
583	井上 駿佑	イノウエ シュンスケ	M
584	西山 太智	ニシヤマ タイチ	M
585	富樫 侑太	トガシ ユウタ	M
586	久 源太	ヒサシ ゲンタ	M

52 御浜沼津

587	福田 美慧	フクダ ミサト	F
588	萩田 怜音	ハギタ レノン	F
589	小坂 瑞葵	コサカ ミヅキ	F
590	平田 汐里	ヒラタ シオリ	F
591	大塚 凜太郎	オオツカ リンタロウ	M

53 用宗LSC

592	清水 徳晃	シミズ ノリアキ	M

54 湯河原LSC

593	三木 恵理	ミキ エリ	F
594	追川 那瑠弥	オイカワ ナルミ	F
595	小林 海咲	コバヤシ ミサキ	F
596	一原 枝里花	イチハラ エリカ	F
597	中鉢 夏希	チュウバチ ナツキ	F
598	秋田 香苗	アキタ カナエ	F
599	鈴木 莉子	スズキ リコ	F
600	篠崎 美羽	シノザキ ミハネ	F
601	山田 純葉	ヤマダ スミハ	F
602	青木 邦	アオキ クニ	F
603	島本 夏凜	シマモト カリン	F
604	正木 友海	マサキ ユミ	F
605	小久保 琴音	コクボ コトネ	F
606	双木 梨央	ナミキ リオ	F
607	待井 ひなた	マチイ ヒナタ	F
608	林 佳美	ハヤシ ヨシミ	F
609	西山 俊	ニシヤマ シュン	M
610	山下 智也	ヤマシタ トモヤ	M
611	山本 一凜	ヤマモト イチリン	M
612	齊藤 優吾	サイトウ ユウゴ	M
613	野口 勝成	ノグチ カツナリ	M
614	藤田 健太郎	フジタ ケンタロウ	M
615	島田 圭佑	シマダ ケイスケ	M
616	川原 大和	カワハラ ヤマト	M
617	繁田 龍之介	ハンダ リュウノスケ	M
618	林 誠海	ハヤシ マサミ	M
619	谷口 日向	タニグチ ヒナタ	M
620	吉田 唯人	ヨシダ ユイト	M
621	白畑 秀磨	シラハタ シュウマ	M
622	石田 周也	イシダ シュウヤ	M
623	山形 陽真	ヤマガタ ハルマ	M
624	金子 優里	カネコ ユウリ	M

55 横浜海の公園LSC

625	藤井 那衣	フジイ ナエ	F
626	大熊 美咲	オオクマ ミサキ	F
627	寺口 亜依	テラグチ アイ	F
628	甘佐 萌笑	アマサ モエ	F
629	近藤 毅歩	コンドウ タケホ	M
630	吉澤 純也	ヨシザワ ジュンヤ	M
631	鍜治 謙一	カジ ケンイチ	M
632	髙橋 湧太郎	タカハシ ユウタロウ	M
633	髙橋 信之介	タカハシ シンノスケ	M
634	三浦 隆大	ミウラ リュウダイ	M
635	釣 健吾	ツリ ケンゴ	M
636	グレイス リエム光平	グレイス リエムコウヘイ	M

56 若狭和田LSC

637	横田 智美	ヨコタ トモミ	F
638	中村 心海	ナカムラ ココミ	F
639	加藤木 美咲	カトウギ ミサキ	F
640	栃尾 唯一	トチオ ユイツ	M
641	藤田 啓之朗	フジタ ケイシロウ	M
642	草野 稜斗	クサノ リョウト	M
643	岩佐 涼太	イワサ リョウタ	M
644	山下 湧輝	ヤマシタ ユウキ	M

57 和田浦LSC

645	狐崎 千乃	キツネザキ チノ	F
646	髙橋 かのん	タカハシ カノン	F
647	高山 采夏	タカヤマ アヤカ	F
648	益子 海音	マスコ ミオ	F
649	草柳 尚志	クサヤナギ ジョウジ	M
650	森広 想	モリヒロ ソウ	M

58 Biarritz Sauvetage Côtier

651	Abravanel Annah		F

59 BMD Northcliffe SLSC

652	田崎 沙楽	サラ タザキ	F

60 New Zealand Team

653	Claudia Kelly		F
654	Jordan Grylls		F
655	James Scott		M
656	Jayden Murphy		M
657	Gus Shivnan		M
658	Jack Keepa		M
659	Morgan Foster		M

61 Christies Beach SLS

660	Oscar Bartos		M

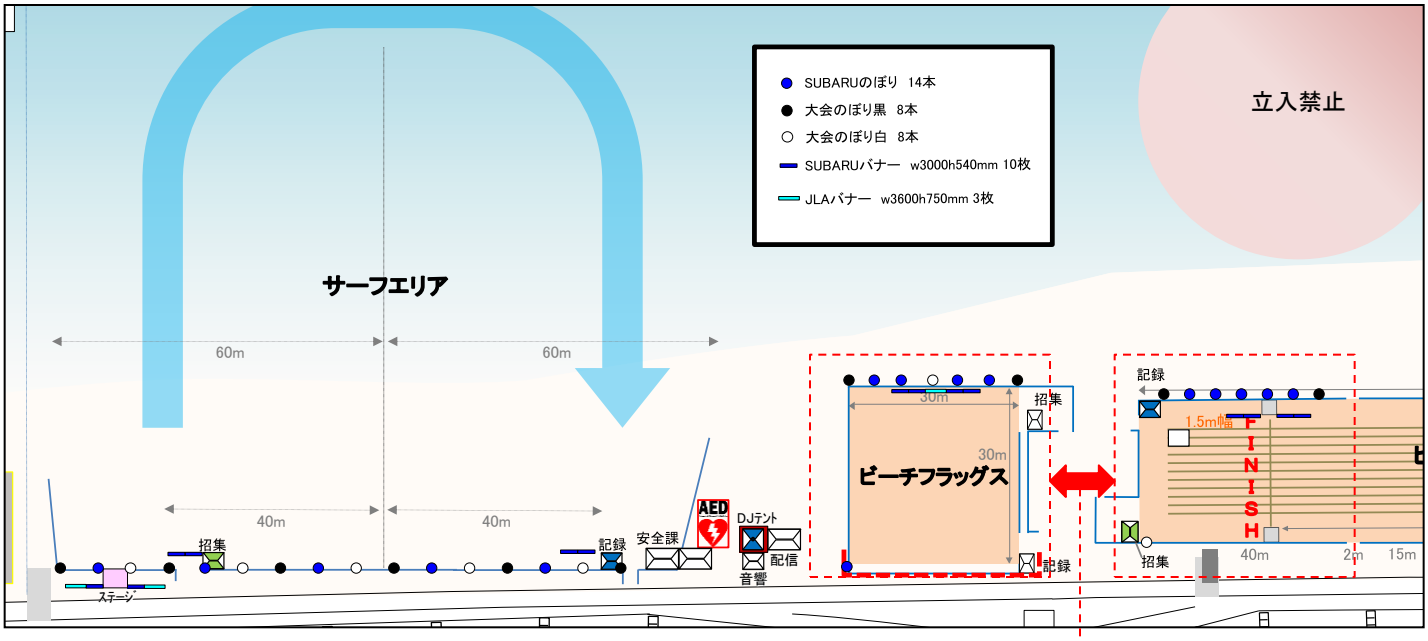
62 岡山LSC

661	林 かえで	ハヤシ カエデ	F
662	崎谷 歩夢	サキタニ アユム	M
663	金納 大士	カンノ ハルト	M

■Black

■White

■のぼり



ビーチスプリントは1日目のみ、ビーチフラッグスは2日目/3日目、のため、掲出物は入替を実施しました。

独立行政法人日本スポーツ振興センター 様 バナー

株式会社SUBARU 様 バナー

株式会社SUBARU 様 のぼり

ご来賓

第50回全日本ライフセービング選手権大会

2024年10月12日（土）～14日（月祝）　　於：片瀬西浜海岸（神奈川県藤沢市）

※同得点チームの順位は、各競技の上位入賞数の違いによる。

チーム総合成績

順位	チーム名	得点
1	西浜サーフライフセービングクラブ	181
2	湯河原ライフセービングクラブ	98
3	茅ヶ崎サーフライフセービングクラブ	66
4	下田ライフセービングクラブ	66
5	九十九里ライフセービングクラブ	58
6	大磯ライフセービングクラブ	51
7	館山サーフライフセービングクラブ	37
8	鴨川ライフセービングクラブ	33
9	南伊豆ライフセービングクラブ	26
10	銚子ライフセービングクラブ	25
11	西伊豆ライフセービングクラブ	19
12	大竹サーフライフセービングクラブ	18
13	鹿嶋ライフガードチーム	17
14	波崎サーフライフセービングクラブ	14
15	白浜ライフセービングクラブ	11
16	常陸サーフライフセービングクラブ	11
17	淡路島ライフセービングクラブ	10
18	鎌倉ライフガード	7
19	神戸ライフセービングクラブ	6
20	大洗サーフライフセービングクラブ	5
21	岩井ライフセービングクラブ	5
22	勝浦ライフセービングクラブ	5
23	辻堂ライフセービングクラブ	4
23	土肥ライフセービングクラブ	4
23	日本体育大学荏原高等学校ライフセービングクラブ	4
26	御浜沼津ライフセービングクラブ連合	3
27	神津島ライフセービングクラブ	2
28	和田浦ライフセービングクラブ	2
29	御宿ライフセービングクラブ	1
29	淡輪ライフセービングクラブ	1
29	東京消防庁ライフセービングクラブ	1
32	愛知ライフセービングクラブ	0

1位を獲得した種目数の差

優勝の西浜サーフライフセービングクラブへ、
【日本ライフセービング協会理事長杯】、【神奈川県知事杯】、【藤沢市長杯」が贈られました。

第50回全日本ライフセービング選手権大会

2024年10月12日（土）～14日（月祝）　　於：片瀬西浜海岸（神奈川県藤沢市）

※同得点チームの順位は、各競技の上位入賞数の違いによる。

チーム総合成績

順位	チーム名	得点
32	安芸ライフセービングクラブ	0
32	熱川ライフセービングクラブ	0
32	天橋立ライフセービングクラブ	0
32	大分市ライフセービングクラブ	0
32	大阪ライフセービングクラブ	0
32	鬼崎サーフライフセービングクラブ	0
32	柏崎ライフセービングクラブ	0
32	KITAJIMAQUATICS	0
32	気仙沼ライフガード	0
32	式根島ライフセービングクラブ	0
32	十文字中学・高等学校ライフセービングクラブ	0
32	湘南ひらつかライフセービングクラブ	0
32	昭和第一学園高等学校ライフセービングクラブ	0
32	新宮ライフセービングクラブ	0
32	逗子サーフライフセービングクラブ	0
32	成城学園高等学校ライフセービングクラブ	0
32	長崎県北ライフセービングクラブ	0
32	新島ライフセービングクラブ	0
32	博多サーフライフセービングクラブ	0
32	葉山ライフセービングクラブ	0
32	牧之原ライフセービングクラブ	0
32	松崎ライフセービングクラブ	0
32	用宗ライフセービングクラブ	0
32	横浜海の公園ライフセービングクラブ	0
32	若狭和田ライフセービングクラブ	0
32	岡山ライフセービングクラブ	0

■概要

2024年9月に実施した全日本ジュニア選手権の〔ニッパーボードレース〕〔ビーチフラッグス〕の2種目で決勝進出した選手のみが参加できる、Jrエキシビジョンレースを開催。
エキシビジョンレースの運営は、元日本代表メンバーに従事いただき、スターターや、メダルプレゼンターとして参加していただきました。

記録写真_ポピンズキッズビーチフラッグス

■概要

株式会社ポピンズ様によるキッズビーチフラッグスを開催し、参加者は約80名、2歳児から小学生まで参加いただきました。実施プログラムは、親子で考える水辺の安全教室から始まり、砂浜で体を動かすウェーミングアップ→ビーチフラッグス体験を実施しました。講師は日本ライフセービング協会副理事長 松本 貴行が務め、またビーチフラッグス体験では、日本ライフセービング協会の各世代のビーチフラッグスチャンピオンがデモンストレーション/イベント運営にも従事いたしました。

■概要

全日本選手権開催「50周年」を記念したパーティーを、湘南鎌倉クリスタルホテルにて開催。
主催者役員の他、国会議員の皆様、サーフライフセービングオーストラリアからの海外参加を含む、約80名のご来賓/関係者で開催いたしました。

主催者挨拶
日本ライフセービング協会理事長
入谷拓哉

ご来賓挨拶
藤沢市長　鈴木恒夫　様

国歌斉唱

選手宣誓
神津島LSC

審判宣誓
中島 典子 チーフレフリー

理事長杯返還
昨年度優勝　湯河原ライフセービングクラブ

日本代表挨拶

■優勝
西浜SLSC

■第2位
湯河原LSC

■第3位
茅ヶ崎SLSC

■PR TIMES　10/4配信

https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000049.000043525.html

メディア転載　29社

■日本ライフセービング協会 広報室 メーリングリストへの情報提供/取材誘致

■藤沢市様 記者クラブへの情報提供/取材誘致

THE JAPAN NATIONAL LIFESAVING CHAMPIONSHIPS
50th Anniversary
第50回
全日本ライフセービング選手権大会
The 50th JAPAN NATIONAL LIFESAVING CHAMPIONSHIPS
2024年10月12日(土)～14日(月祝) 片瀬西浜海岸(神奈川県藤沢市)
第50回全日本ライフセービング選手権大会
主催　公益財団法人　日本ライフセービング協会
協賛　株式会社SUBARU　株式会社櫻井興業
株式会社ポピンズ　株式会社クレーマージャパン
株式会社BS日本
大会HPはこちら
ふじさわ LIFE FEST も同会場で開催！
「いのち」と「環境」をテーマに、
様々なブースやイベントを実施予定です！！
江の島フィッシャーマンズマルシェから
キッチンカーも出店します！！
〈昨年の様子〉
小田急江ノ島線『鵠沼海岸』駅から徒歩10分

■小田急電鉄 江ノ島線

全5駅　掲示期間9/20-10/14

■江の島電鉄

全15駅　掲示期間9/20-10/14

■藤沢市内の 小学校 / 中学校 / 特別支援学校

2024年7月　全54校

小学校

藤沢小学校	明治小学校	鵠沼小学校
本町小学校	村岡小学校	六会小学校
辻堂小学校	鵠洋小学校	片瀬小学校
大道小学校	秋葉台小学校	御所見小学校
長後小学校	八松小学校	高砂小学校
善行小学校	富士見台小学校	鵠南小学校
浜見小学校	俣野小学校	大越小学校
羽鳥小学校	湘南台小学校	大庭小学校
亀井野小学校	新林小学校	中里小学校
滝の沢小学校	大鋸小学校	天神小学校
駒寄小学校	高谷小学校	小糸小学校
大清水小学校	石川小学校	

中学校・特別支援学校

第一中学校	明治中学校	鵠沼中学校
六会中学校	片瀬中学校	御所見中学校
湘洋中学校	長後中学校	藤ヶ岡中学校
高浜中学校	善行中学校	秋葉台中学校
大庭中学校	村岡中学校	湘南台中学校
高倉中学校	滝の沢中学校	大清水中学校
羽鳥中学校	白浜養護学校	

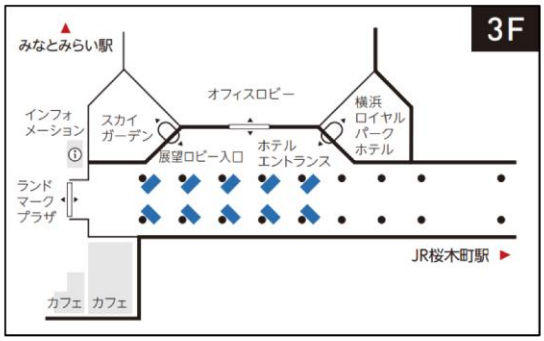
■「横浜ランドマークタワー3階外構部」および「ランドマークプラザ1階」

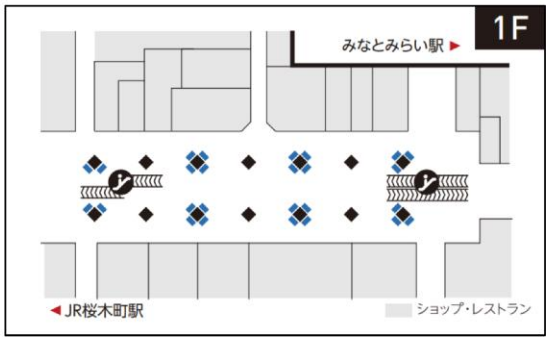
10/1～10/14

【規格】

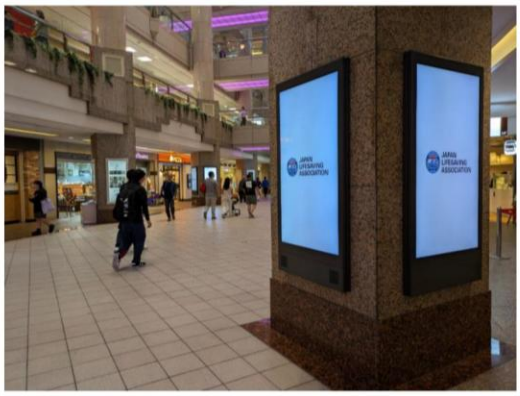
規格	放映頻度・秒数	放映時間
横浜ランドマークタワー３階外構部 70インチ液晶×10面	３分に１回 15秒の映像	7：00～24：00 （17時間）
ランドマークプラザ１階 60インチ液晶×26面		

【設置詳細】





1F



3F

■PR TIMES　10/21配信

https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000051.000043525.html

メディア転載　32社

PR TIMES　プレスリリース・ニュースリリース配信サービスのPR TIMES　プレスリリースを受信　企業登録申請　ログイン

Top | テクノロジー | モバイル | アプリ | エンタメ | ビューティー | ファッション | ライフスタイル | ビジネス | グルメ | スポーツ

公益財団法人日本ライフセービング協会　会社概要　プレスリリース　フォロー

『第50回全日本ライフセービング選手権大会』総合優勝は西浜サーフライフセービングクラブ

次世代のライフセーバーの育成は、地域社会における水辺の事故ゼロを推進します

公益財団法人日本ライフセービング協会

2024年10月21日 14時00分

公益財団法人日本ライフセービング協会（東京都港区　理事長　入谷拓哉：以下、JLA）は、2024年10月12日（土）から14日（月）の3日間、神奈川県藤沢市片瀬西浜海岸で「第50回全日本ライフセービング選手権大会」を開催しました。本大会には全国から62チーム、663名のライフセーバーたちが集結したほか、海外からオーストラリア、フランス、ニュージーランドの3カ国からも参加があり、熱戦が繰り広げられました。大会期間中は晴天に恵まれ、夏を思わせる陽気の中、穏やかな海で行われましたが、選手たちは高温と平水面でのレースに体力と精神力が試されるハードなコンディションとなりました。

メディア	株式会社BS日本（BS日テレ）
内容	「番組タイトル」 **～ゴールの先に救う生命がある～** **第50回全日本ライフセービング選手権大会** 「放送日」 **11月10日（日） or 17日（日）15:00～16:00** 「内　容」 **大会ダイジェスト　60分番組** 「出　演」 **武井壮** 「ナレーター」 **田丸裕臣**

メディア	The Swedish Writers’ Union SFF（スエーデン記者クラブ）
メディア	**日本テレビ「オーマイゴット」** ※放映予定確認中
メディア	**情報WEBサイト「湘南人」** 20.24.10.24掲載
メディア	**月間スイミングライフ** ※掲載日程確認中

イベント名：　**ふじさわLIFE FEST**

テーマ；　**ふじさわの海で「いのち」と「環境」にふれよう**

開催趣旨：　ビーチで開催される別イベント『全日本ライフセービング選手権』（主催：公益財団法人日本ライフセービング協会）と連動し、「いのち」「環境」に関する展示/販売のほか、ビーチクリーン等を実施。
イベントに出展する企業/団体が取り組む「いのち」「環境」に関する活動を紹介することで、藤沢市民を中心とした来場者/観光客に対して、いのちの大切さを伝えるとともに、環境保全活動への取組促進に寄与する。

場　所：　片瀬西浜海岸（神奈川県藤沢市）
ボードウォーク（海風のテラス）特設会場

日　程：　令和６年10月12日(土)～14日(月祝) 3日間
12日(土) 10:00-16:00
13日(日)14日(月祝)9:30-16:00

主　催：　公益財団法人日本ライフセービング協会

後　援：　公益社団法人藤沢市観光協会

協　力：　藤沢市、藤沢市消防局、公益財団法人かながわ海岸美化財団、藤沢市SDGsパートナー、江ノ島フィッシャーマンズマルシェ

来場数：　3日間延べ 約3000名

実施内容：　次のとおり

ブース出展

「いのち」「環境」に関する企業/団体の取り組みをテントブース内にて展示

PR映像放映

「いのち」「環境」に関する企業/団体の取組映像を158インチLEDスクリーンにて放映

キッチンカー販売

地産地消やフードロスに取組む団体による、「食」「環境」に配慮された飲食販売

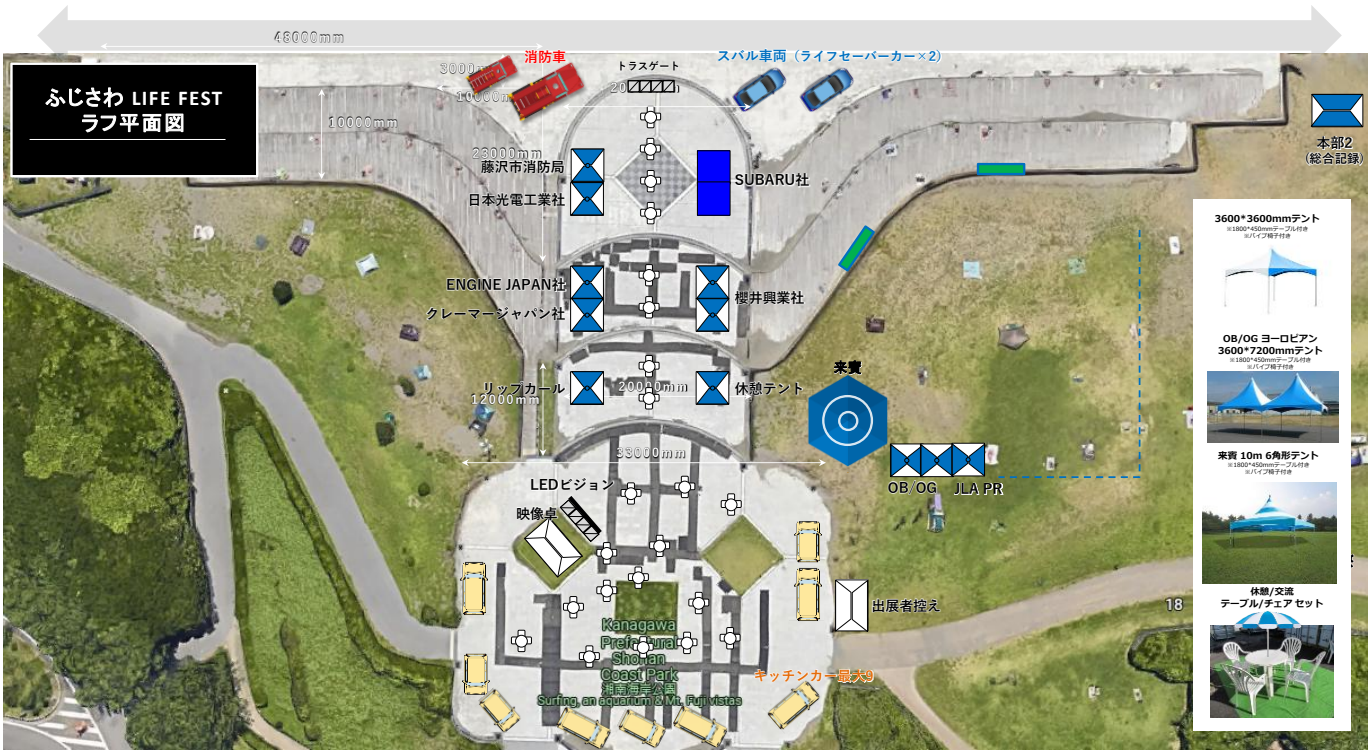
ビーチクリーン/ゴミ回収

各出展企業やライフセーバーがリサイクルを強く意識した、ビーチクリーンを実施

実施スケジュール/会場レイアウト

ふじさわLIFE FEST

	10日(木)11日(金)	12日(土)	13日(日)	14日(月祝)	15日(火)
8:00		出展車両搬入 8:00-9:00	夜間警備	夜間警備	西浜SLSC ビーチクリーン
9:00	基礎施工	出展準備 9:00-10:00 / キッチンカー搬入 9:00-10:00	出展準備	出展準備	
10:00		ふじさわLIFE FEST 会期 10:00-16:00	ビーチクリーン 10:00-11:00 / ふじさわLIFE FEST 会期 09:30-16:00	ポピンズキッズ ビーチフラッグス 10:00-11:00 / ふじさわLIFE FEST 会期 09:30-16:00	
11:00					
12:00					
13:00		全日本選手権 開会式12:40-13:10			
14:00					
15:00	映像確認 11日(金) 15-16:00				
16:00		横幕閉め ※日ごとに車両搬出希望は16:00-17:00車両搬出	横幕閉め ※日ごとに車両搬出希望は16:00-17:00車両搬出	キッチンカー/出展者搬出 16:00-17:00	
17:00		夜間警備	夜間警備 / 全日本選手権 50thParty	全日本選手権 閉会式 16:15~	



Title/	第50回全日本ライフセービング選手権大会　本選会	Place/	片瀬西浜海岸　（神奈川県藤沢市）	Date/	2024/10/12(土)-14(月祝)	公益財団法人 日本ライフセービング協会

■出展ブースの設え（基本）

× 4台

× 5脚

公益財団法人
日本ライフセービング協会

出展社名版イメージ

■付帯している備品

① 横幕（4方囲い:白）1式
② 長机w1800*d450*h700mm 4本
③ 椅子 5脚
④ 出展社名版 w1500*h400mm スチレン/ラミ加工 1枚
（データご入稿又は、テキスト入稿）
※16時終了のため、蛍光灯は付帯なし。
※電源は別途希望者と調整

■ブース出展社様　7社

藤沢市消防局　様
株式会社SUBARU　様
日本光電工業株式会社　様
株式会社櫻井興業　様
株式会社クレーマージャパン　様
ENGINE JAPAN　様
リップカールジャパン株式会社　様

ふじさわ LIFE FEST

ふじさわ LIFE FEST

■ホームページ

公式facebookページ
日本ライフセービング協会
@JapanLifesavingAssociation

公式Instagram
日本ライフセービング協会（JLA）
@jla_lifesaving

公式Youtubeチャンネル
JAPAN LIFESAVING ASSOCIATION
@JapanLifesavingAssociation

ふじさわLIFE FESも同会場で開催

ふじさわ LIFE FEST

「いのち」と「環境」をテーマに、 様々なブースやイベントを実施予定です。
江の島フィッシャーマンズマルシェから キッチンカーも出店します。

主催：公益財団法人日本ライフセービング協会
後援：藤沢市観光協会
協力：藤沢市、藤沢市消防局、かながわ海岸美化財団、藤沢市SDGsパートナー、江ノ島フィッシャーマンズマルシェ

出展予定はこちら
藤沢市消防局、かながわ海岸美化財団、藤沢市SDGsパートナー、江ノ島フィッシャーマンズマルシェ（キッチンカー）、株式会社SUBARU、株式会社ポピンズ、日本光電工業株式会社、株式会社櫻井興業、株式会社クレーマージャパン、ENGINE JAPAN、

■バナー/のぼり

入場ゲート

装飾バナー

休憩パラソル

通行導線（ゲート～出展エリア～キッチンカー）

競技中継/プロモーション映像　LEDスクリーン

藤沢市消防局様
WATER RESCUE
藤沢市消防局

ISUZU

藤沢市消防局
RESCUE

藤沢市消防局
ISUZU

株式会社SUBARU 様

一つの
いのち
プロジェクト
自然のいのち

ふじさわ LIFE FEST
SURF RESCUE

ふじさわ LIFE FEST

ふじさわLIFE FEST

日本光電工業株式会社 様

リップカールジャパン株式会社　様

株式会社クレーマージャパン　様

株式会社櫻井興業　様

■概要

158インチ（画面横3.5m*高2m　※全高高さ4.4m ）、**2.9mmピッチ**の高精細**LEDスクリーン**をふじさわLIFE FESTの中央エリア（キッチンカーエリアとブース出展の間）に設置。ふじさわLIFE FESTにお越しになった方や、パラソルで休憩されている方に対して、ライフセービング競技中継映像の放映、いのちや環境に係る映像提供者様のPR映像を放映しました。

放映内容：　①競技中継　②映像提供者様のPR映像

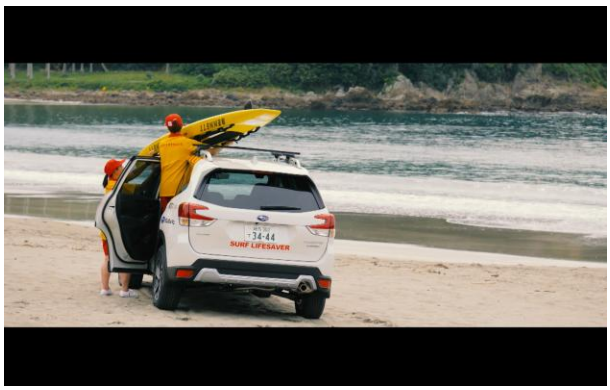
放映スケジュール：　競技中継をベースに、競技中継間（インターバル毎）と 30分間に1回の頻度 で映像提供者様のPR映像を放映

■映像提供者様

藤沢市消防局　様

株式会社ポピンズ　様

株式会社SUBARU　様



THEORIA_edit1010

クロストレックTVCM

記録写真_キッチンカー

ふじさわLIFE FEST

記録写真_ビーチクリーン

ふじさわLIFE FEST

■概要

西浜サーフライフセービングクラブが月例主催しているビーチクリーンを、ふじさわLIFE FESTと共催し、合同で実施しました。ビーチクリーン実施前には、公益財団法人かながわ海岸美化財団 門脇代表理事より、ゴミのお話しなどレクチャーをいただきました。また、ビーチクリーンの最後には“えのんくん”（江ノ島電鉄公式キャルクター）も登場してくれました。

■参加者

総勢約240名
内訳…SUBARU約170名、西浜ジュニア約40名、片瀬公民館小学生、教員約20名、その他関係者約10名